

II 現況特性の整理

1. 概況

本市は、知多半島の西北端に位置し、西は伊勢湾に面し、北は名古屋市、東は大府市、東浦町、南は知多市に接しています。また、名古屋市の中心地区まで約15キロメートルに位置し、名鉄常滑線で太田川駅より名鉄名古屋駅までは、約20分の近距離にあります。

本市は、昭和44年（1969年）4月1日に、上野町と横須賀町の合併により、県下で23番目の市として誕生しました。その後、臨海部の企業立地が続き、令和3年（2021年）4月1日時点で本市の人口は114,615人、世帯数は51,458世帯となっています。

市域は、東西8.06キロメートル、南北10.97キロメートル、面積4,343ヘクタールであり、南北を通過する国道155号によって、内陸部と臨海部に区分されます。臨海部では、大手鉄鋼産業等の工場や自動車製造業等の港湾施設が立地しています。

内陸部において都市化が進む中で、文化センター、勤労センター、商工センターや健康福祉拠点のしあわせ村が整備されました。近年では、連続立体整備事業の完成にあわせた太田川駅周辺で市民交流プラザや東海市芸術劇場等が整備され、駅前ロータリーを拠点とする循環バスも運行されています。また、知多半島医療圏北西部地域の中核となる公立西知多総合病院が整備され、現在に至っています。

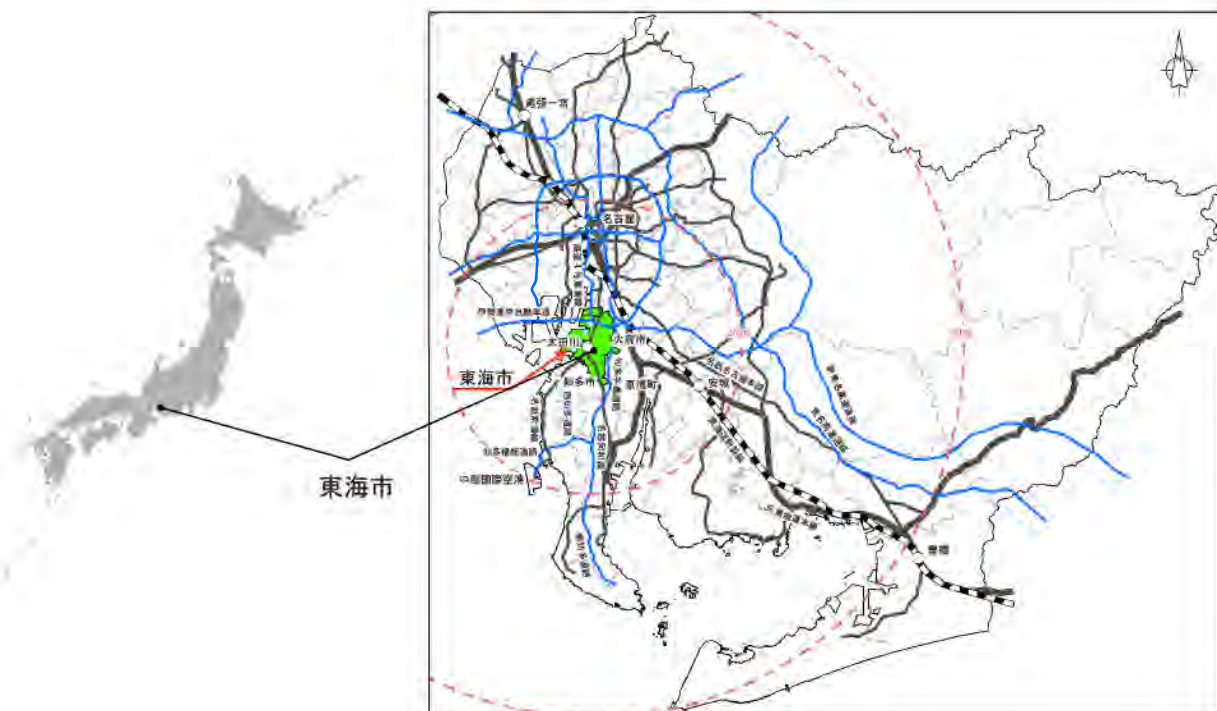


図 本市の位置

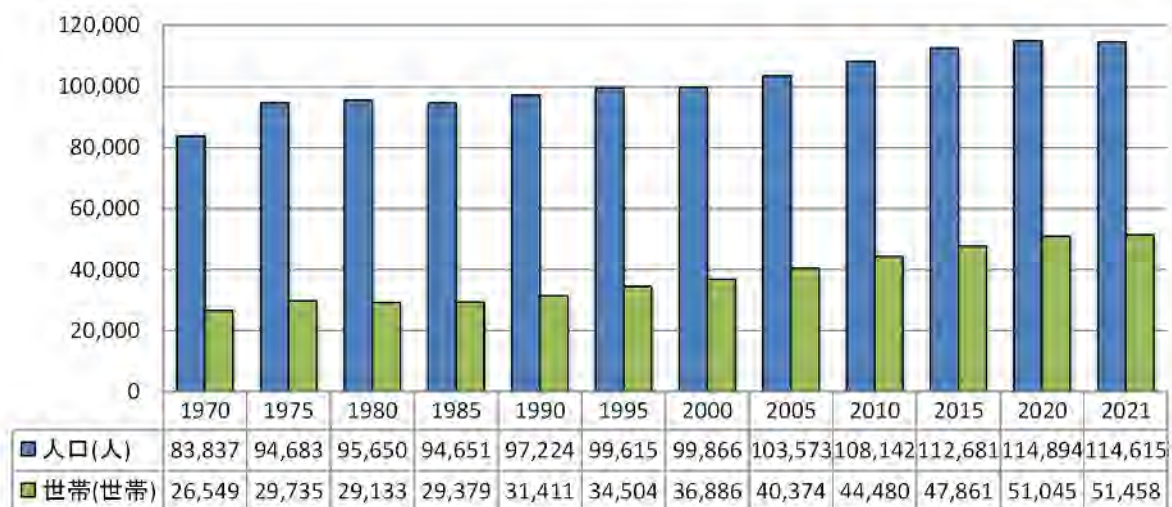
2. 人口動向

2.1. 人口現況

(1) 全体人口・世帯

本市の2021年4月1日時点の全体人口は114,615人、世帯数は、51,458世帯となっています。人口の推移をみると1975年から1985年まで横ばいでしたが、その後は2020年までは増加傾向を示しています。直近の2021年は概ね横ばいで推移しています。

世帯数は、1975年から1985年まで横ばいでしたが、その後は増加傾向を示しています。2015年から2021年までの増減比は、人口は1.02、世帯数は1.08となっています。

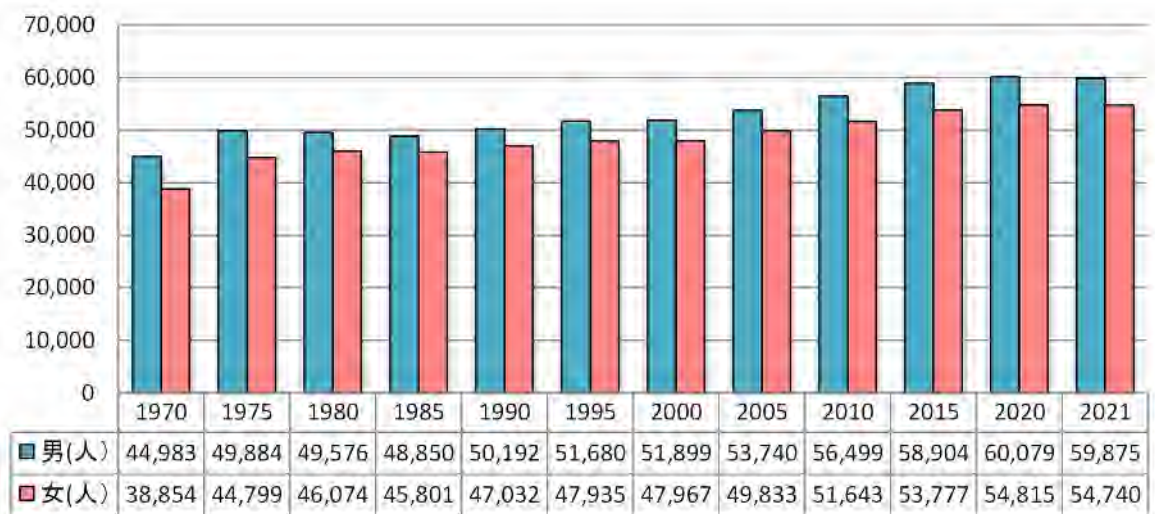


出典：住民基本台帳（各年4.1時点）

図 全体人口・世帯の推移

(2) 男女別人口

男女別人口は、各年とも男性が多くなっています。推移をみると男性は1975年から1985年まで減少し、女性は1980年から1985年まで減少しましたが、その後増加傾向を示しています。



出典：住民基本台帳（各年4.1時点）

図 男女別人口の推移

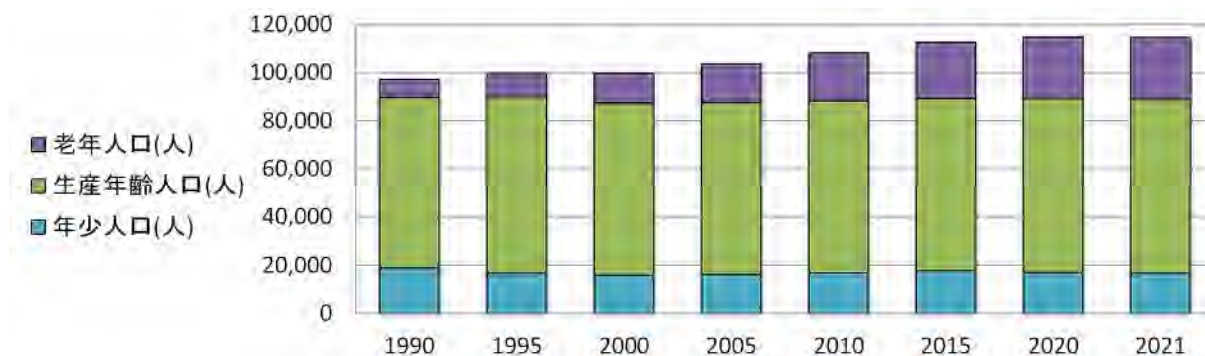
(3) 年齢3区分別人口

年齢3区分別人口の推移をみると、老年人口*（65歳以上）は1990年以降、増加傾向となっています。生産年齢人口*（15歳以上65歳未満）は2000年から2015年まで横ばいで推移していましたが、その後増加しています。一方、年少人口*（15歳未満）は、2015年までは増減を繰り返していますが、2015年をピークとして減少しています。

表 年齢3区分別人口の推移

	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2020	2021
老年人口(人)	7,401	9,665	12,465	15,918	19,895	23,498	25,509	25,690
うち後期高齢者人口(人)	2,774	3,485	4,295	5,760	7,961	10,364	13,169	13,311
生産年齢人口(人)	70,955	73,099	71,431	71,341	71,306	71,466	72,361	72,182
年少人口(人)	18,868	16,851	15,970	16,314	16,941	17,717	17,024	16,743
うち5歳未満年少人口(人)	5,791	5,446	5,552	5,923	5,783	6,023	5,399	5,071

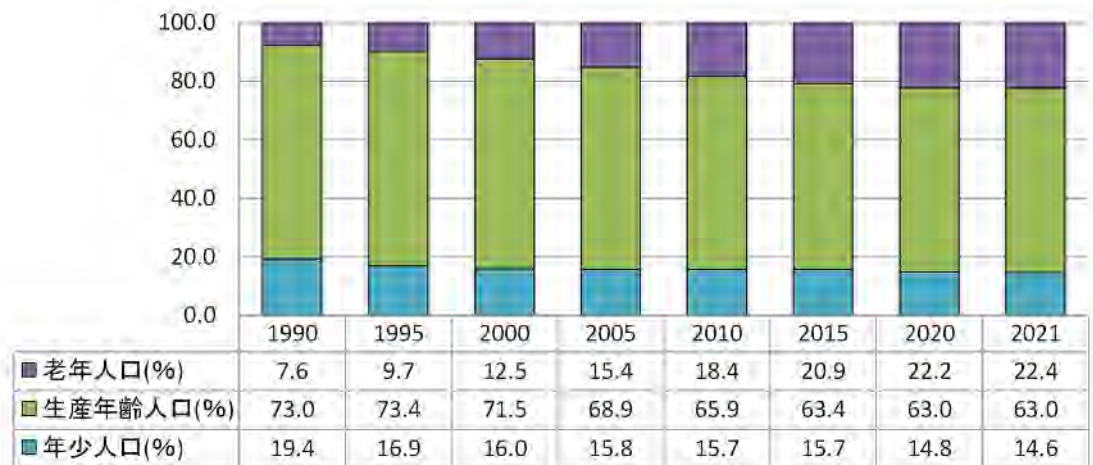
出典：住民基本台帳（各年4.1時点）



出典：住民基本台帳（各年4.1時点）

図 年齢3区分別人口の推移

年齢3区分別人口割合の推移をみると、老年人口割合は増加傾向となっています。生産年齢人口割合は1990年から1995年までは横ばいでしたが、その後減少傾向を示しています。一方、年少人口割合は2000年以降、横ばいでしたが2015年以降は減少しています。



出典：住民基本台帳（各年4.1時点）

図 年齢3区分別人口割合の推移

年齢3区分別の人口割合について、愛知県全体、周辺市町と比較すると、年少人口割合と生産年齢人口割合は比較的高く、老年人口割合は低くなっています。



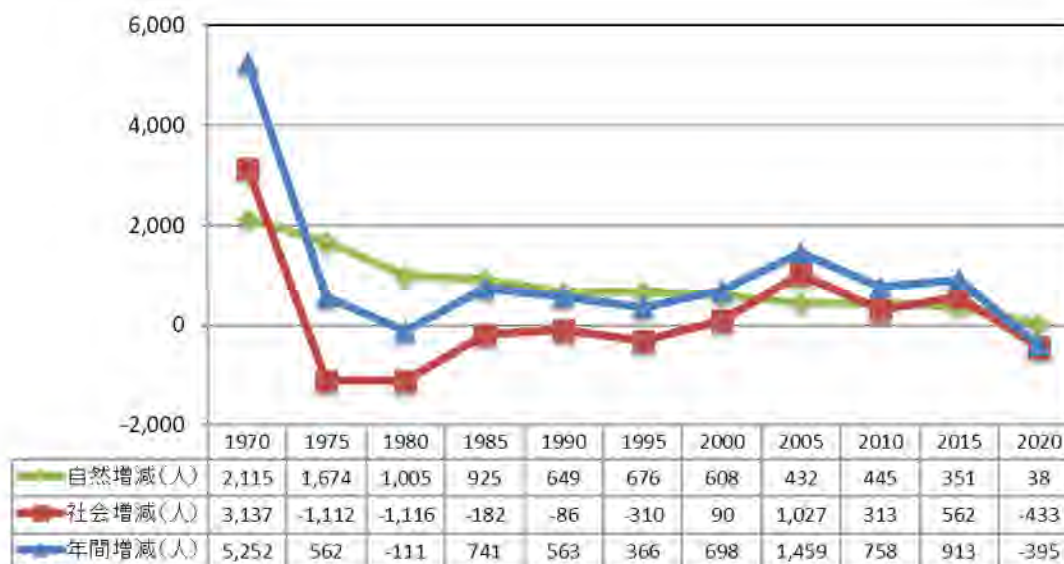
出典：愛知県人口動向調査（2021.4.1時点）

図 年齢3区分別人口割合の比較

(4) 人口動態

自然増減*は、死亡より出生が上回っており、全体としてプラスで推移しています。また、社会増減*は、1970年と2000年以降は転入が転出を上回りプラスで推移していましたが2020年はマイナスとなっています。

自然増減と社会増減を含めた年間増減は、1985年以降はプラスで推移していましたが2020年はマイナスとなっています。

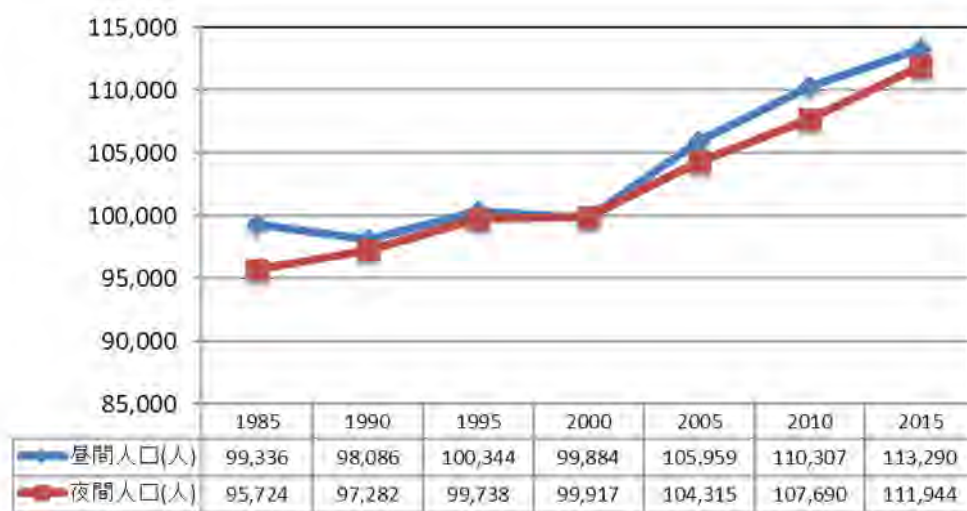


出典：東海市の統計（2021年度）

図 人口動態

(5) 昼夜間人口*

昼夜間人口ともに、増加傾向で推移しています。2000年を除き昼間人口が上回っており、流入人口超過の傾向で推移しています。



出典：国勢調査

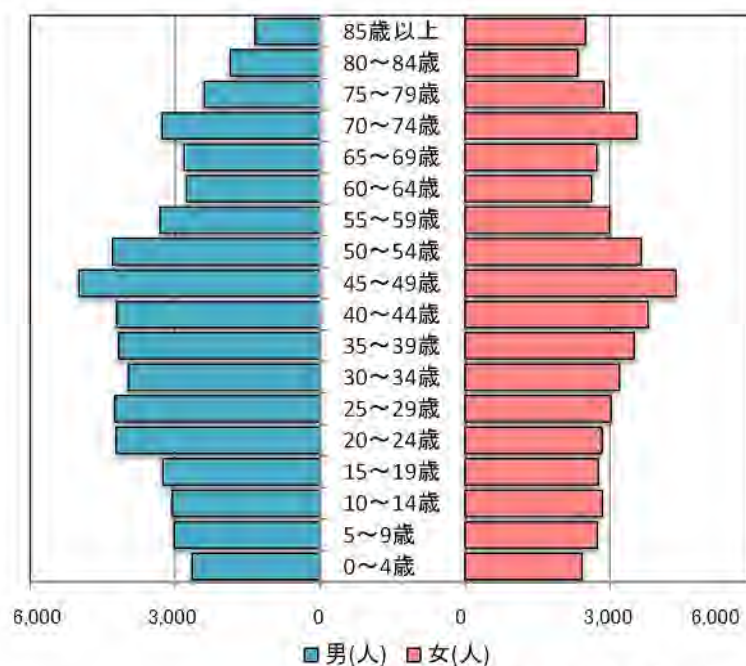
図 昼夜間人口

2.2. 人口分布

(1) 人口分布

本市の人口を100mメッシュ*ごとに集計し、全体人口及び年齢区分別人口（年少人口、5歳未満の年少人口、生産年齢人口、老年人口、後期高齢者人口*）について分布状況を整理します。

全体人口の人口ピラミッドをみると、男女とも「45～49歳」の人口が最も多くなっています。

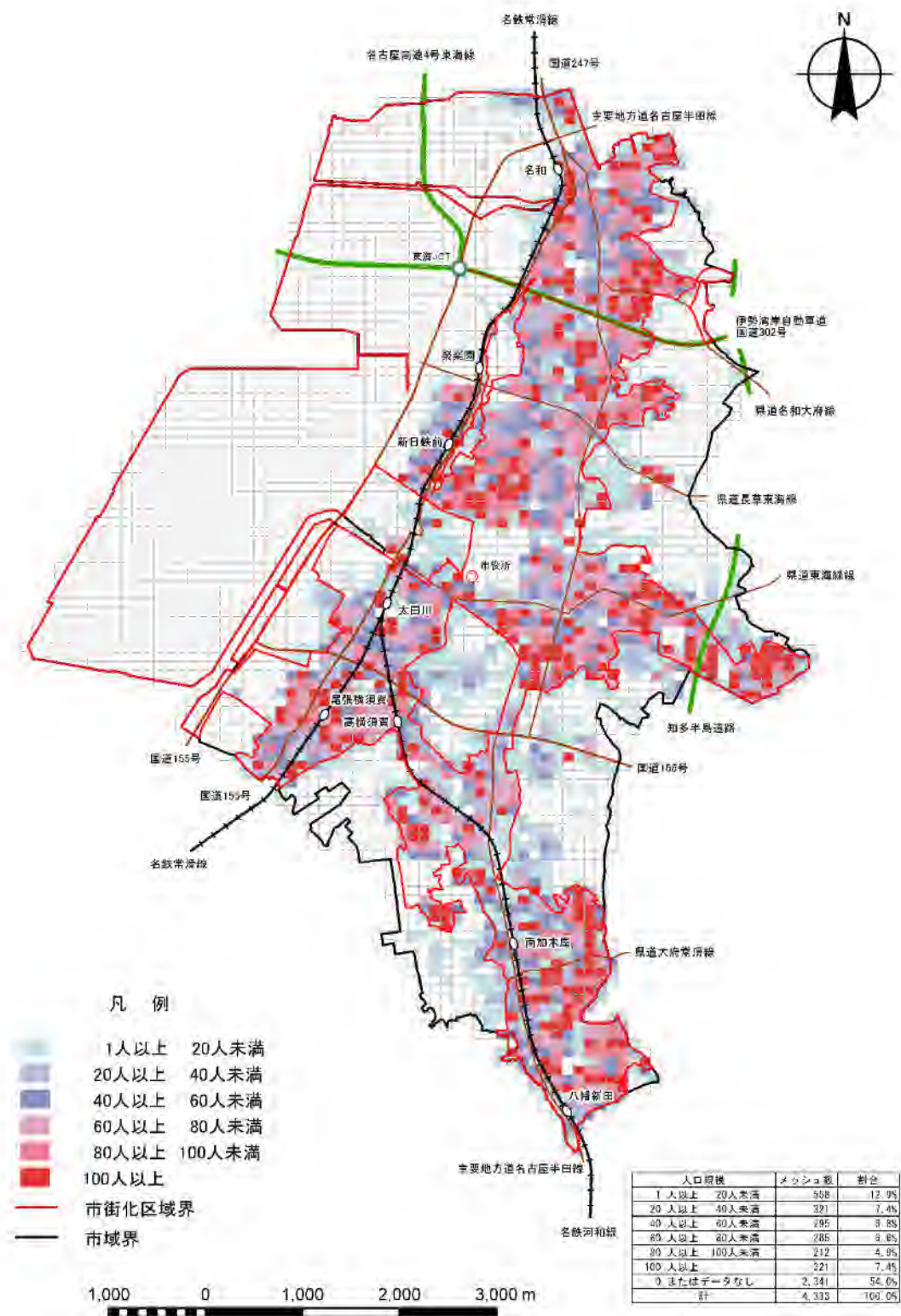


出典：住民基本台帳（2021.4.1時点）

図 人口ピラミッド

II. 現況特性の整理

人口分布の状況を見ると、1人以上のメッシュはメッシュ全体の46.0%を占めており、臨海部を除く市街化区域に分布しています。このうち人口集積がみられる箇所は、駅周辺や（都）名古屋半田線、県道東海緑線等の内陸側の主要道路沿道等です。市街化調整区域の主要道路沿道等においても人口が分布しています。

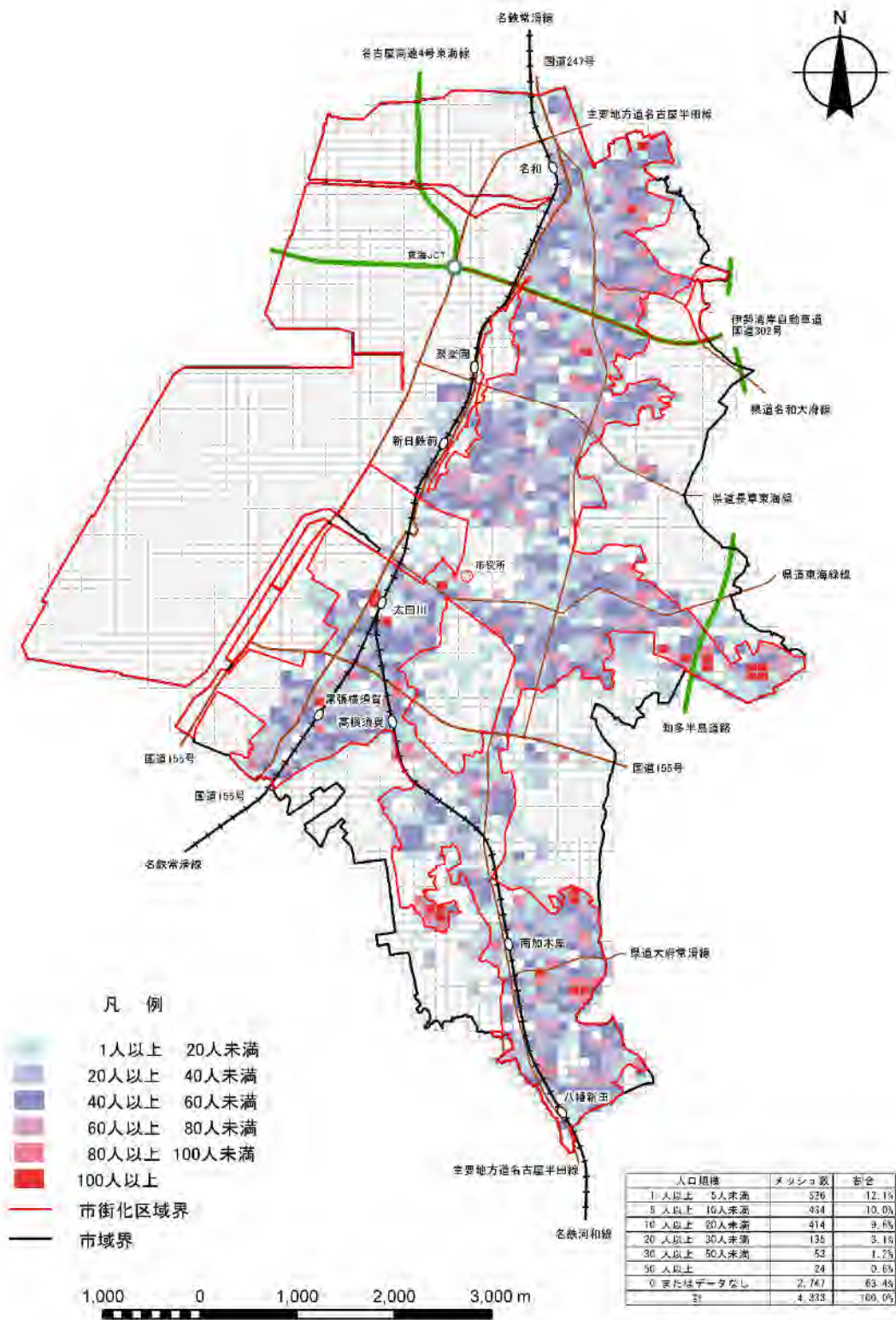


出典：住民基本台帳（2021.4.1時点）

図 人口分布

II. 現況特性の整理

年少人口の分布をみると、1人以上5人未満のメッシュが最も多くなっています。また、全体人口ではメッシュ全体の46.0%に分布していましたが、年少人口では36.6%となっており、分布の範囲が狭くなっています。

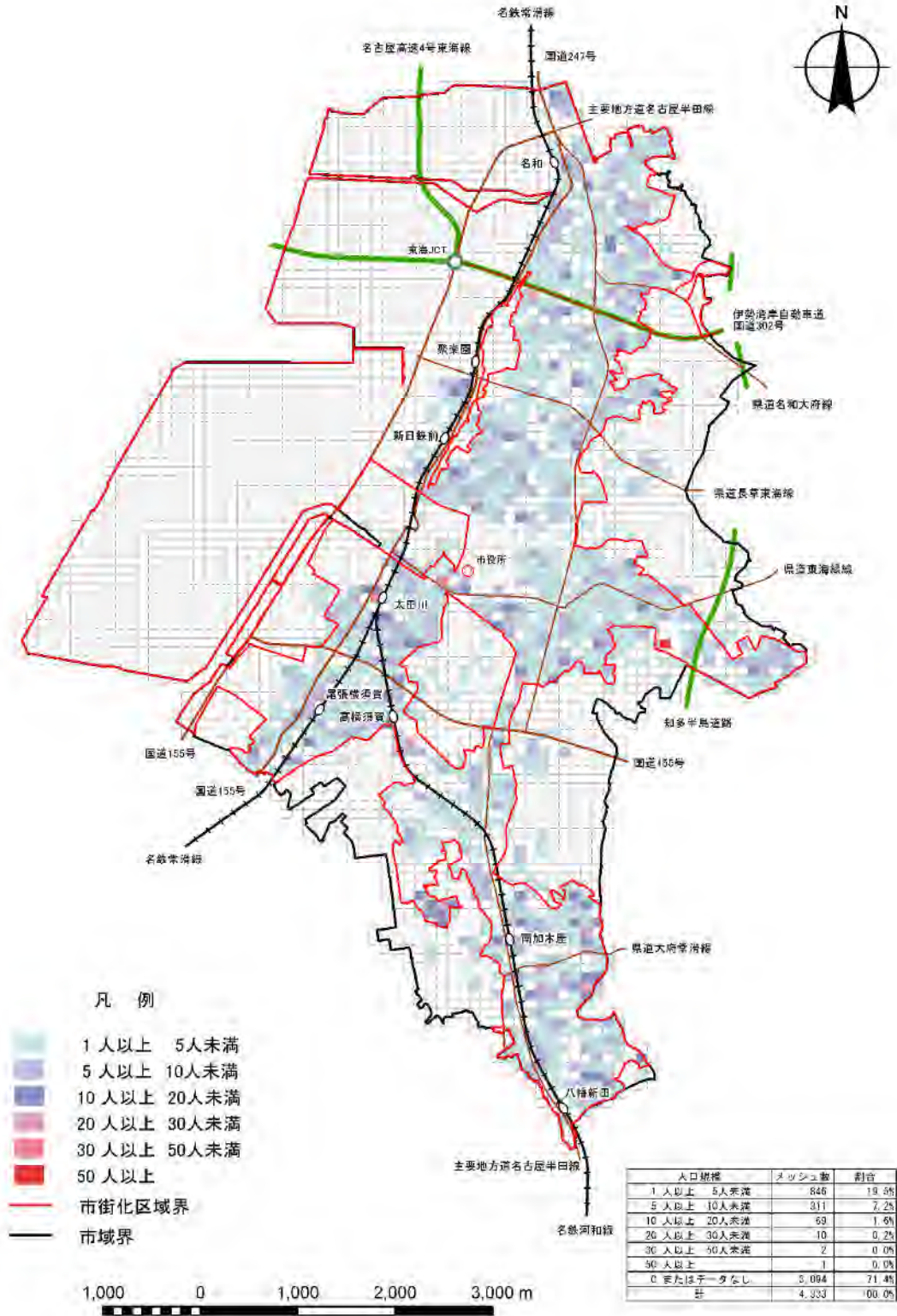


出典：住民基本台帳（2021.4.1時点）

図 年少人口分布

II. 現況特性の整理

5歳未満の年少人口の分布をみると、1人以上5人未満のメッシュが最も多くなっています。また、年少人口では36.6%に分布していましたが、5歳未満の年少人口では28.6%となっており、分布の範囲がさらに狭くなっています。

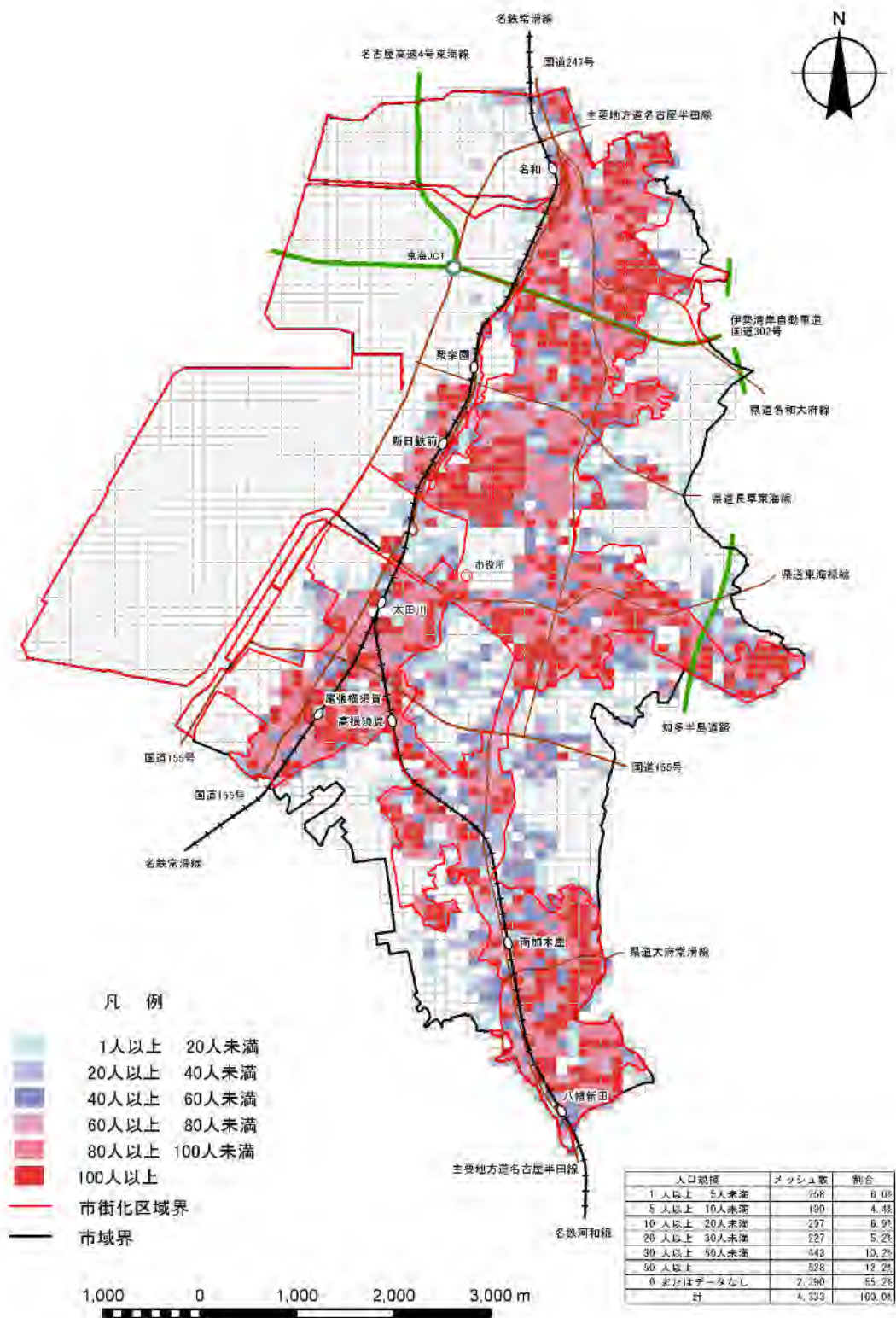


出典：住民基本台帳（2021.4.1時点）

図 5歳未満の年少人口分布

II. 現況特性の整理

生産年齢人口の分布をみると、50人以上のメッシュが12.2%となっています。また、全体人口ではメッシュ全体の46.0%に分布していましたが、生産年齢人口では44.8%となっており、ほぼ同じ分布の範囲になっています。

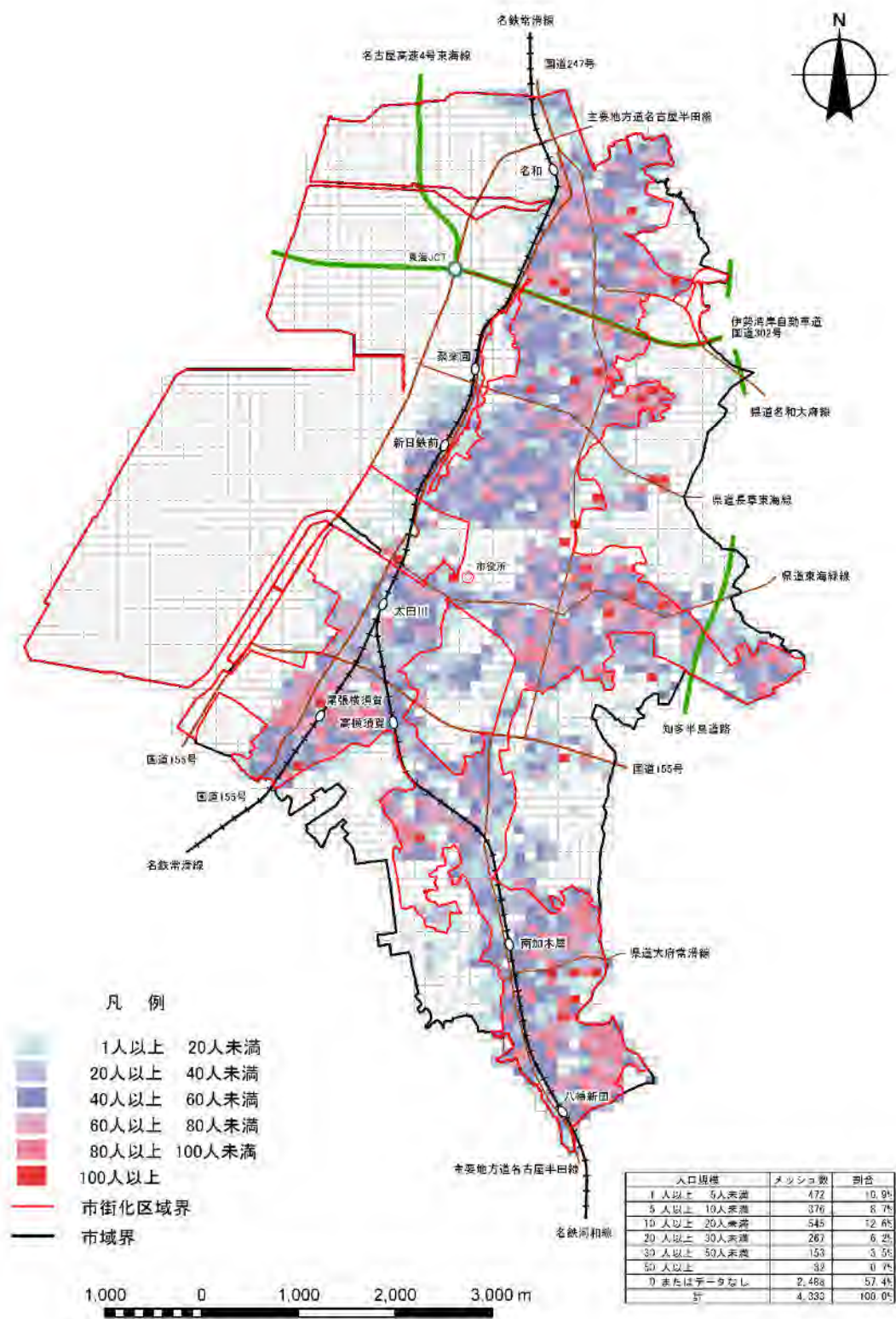


出典：住民基本台帳（2021.4.1時点）

図 生産年齢人口分布

II. 現況特性の整理

老年人口の分布をみると、1人以上5人未満及び10人以上20人未満のメッシュが多く、市の北東部、東部、南部等を集積している箇所がみられます。また、全体人口ではメッシュ全体の46.0%に分布していましたが、老年人口は42.6%となっており、分布の範囲がやや狭くなっています。

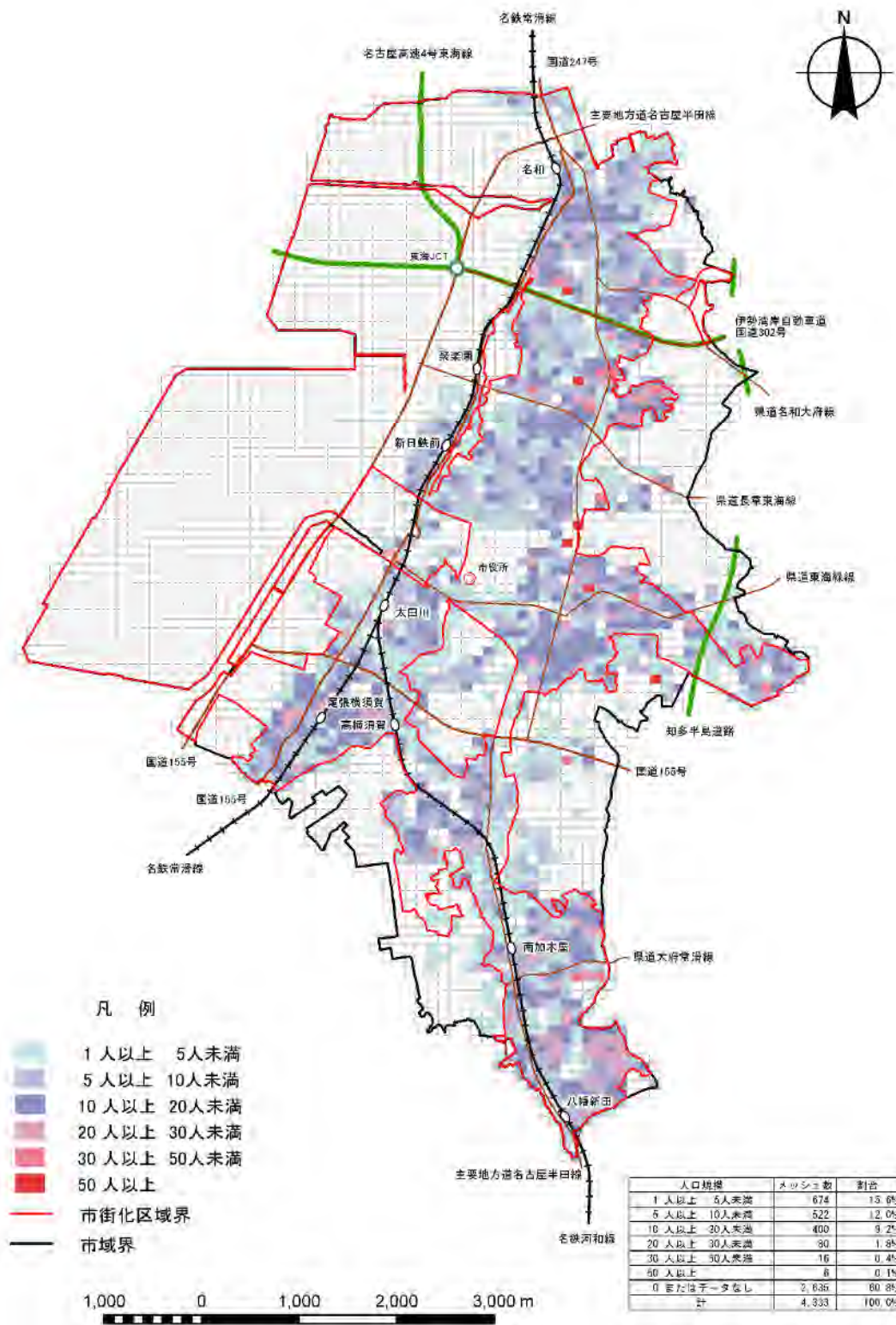


出典：住民基本台帳（2021.4.1時点）

図 老年人口分布

II. 現況特性の整理

後期高齢者人口の分布をみると、1人以上5人未満のメッシュが最も多く、次いで5人以上10人未満のメッシュが多くなっています。また、全体人口ではメッシュ全体の46.0%に分布していましたが、後期高齢者人口では39.2%となっており、分布の範囲が狭くなっています。



出典：住民基本台帳（2021.4.1時点）

図 後期高齢者人口分布

(2) 小学校区別人口

12 小学校区別の人口は、下表のとおりであり、人口が最も多いのは横須賀地域で 16,588 人、次いで平洲地域で 15,690 人となっています。この 2 地区は老年人口も多く、3,000 人を超えています。

表 小学校区別人口の状況

	小学校区	全体人口	年少人口	生産年齢人口	老年人口	前期 高齢者人口*	後期 高齢者人口	
1	緑陽 (人)	8,612	1,232	5,839	1,541	794	747	
	(%)	100.0%	14.3%	67.8%	17.9%	9.2%	8.7%	
2	名和 (人)	12,523	2,021	7,741	2,761	1,320	1,442	
	(%)	100.0%	16.1%	61.8%	22.0%	10.5%	11.5%	
3	渡内 (人)	6,949	985	3,978	1,986	825	1,161	
	(%)	100.0%	14.2%	57.3%	28.6%	11.9%	16.7%	
4	平洲 (人)	15,690	2,145	10,163	3,382	1,700	1,683	
	(%)	100.0%	13.7%	64.8%	21.6%	10.8%	10.7%	
5	明倫 (人)	5,126	602	3,045	1,479	730	748	
	(%)	100.0%	11.7%	59.4%	28.9%	14.2%	14.6%	
6	富木島 (人)	9,953	1,693	6,394	1,866	874	993	
	(%)	100.0%	17.0%	64.2%	18.7%	8.8%	10.0%	
7	船島 (人)	5,482	793	3,405	1,284	607	677	
	(%)	100.0%	14.5%	62.1%	23.4%	11.1%	12.3%	
8	大田 (人)	8,618	1,302	5,727	1,589	782	807	
	(%)	100.0%	15.1%	66.4%	18.4%	9.1%	9.4%	
9	横須賀 (人)	16,588	2,010	10,846	3,732	1,876	1,854	
	(%)	100.0%	12.1%	65.4%	22.5%	11.3%	11.2%	
10	加木屋 (人)	8,747	1,411	5,321	2,015	1,011	1,004	
	(%)	100.0%	16.1%	60.8%	23.0%	11.6%	11.5%	
11	三ツ池 (人)	4,548	719	2,718	1,111	493	618	
	(%)	100.0%	15.8%	59.8%	24.4%	10.8%	13.6%	
12	加木屋南 (人)	11,779	1,830	7,005	2,944	1,367	1,577	
	(%)	100.0%	15.5%	59.5%	25.0%	11.6%	13.4%	
合計 (人)		114,615	16,743	72,182	25,690	12,379	13,311	
		(%)	100.0%	14.6%	63.0%	22.4%	10.8%	11.6%

出典：住民基本台帳（2021.4.1時点）



図 小学校区

2.3. 人口集中地区*

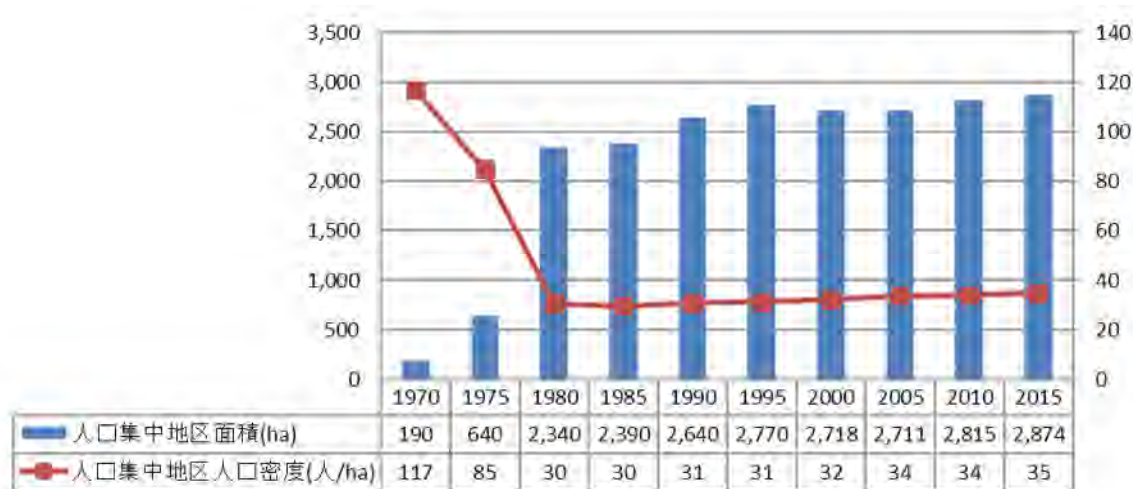
(1) 人口集中地区の現状

本市の人口集中地区は、市制施行（1969年）直後の1970年代には、名和駅周辺、尾張横須賀駅周辺、高横須賀駅周辺等の190ヘクタールから640ヘクタールまでと狭く、人口集中地区の人口密度は117人／ヘクタールと高密度な市街地が形成されていました。1980年には、工業専用地域等が加わったことにより人口密度が低くなりましたが、1990年以降は、人口集中地区面積がそれほど増えない（1995年から2015年までの増減比1.04）中で、人口集中地区人口は増加（1995年から2015年までの増減比1.16）しており、人口密度が上昇しています。全体人口に占める人口集中地区人口の割合は、1990年以降は80%を超えて増加傾向となっており、比較的コンパクトに市街地が形成されています。

表 人口集中地区の現状及び推移

	1970	1975	1980	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2015/1995
全体人口(人)	86,608	95,457	96,048	95,278	97,358	99,738	99,921	104,339	107,690	111,944	1.12
人口集中地区人口(人)	22,158	54,364	71,297	71,003	80,932	86,738	87,014	91,480	95,211	100,236	1.16
人口集中地区人口/ 全体人口(%)	25.6	57.0	74.2	74.5	83.1	87.0	87.1	87.7	88.4	89.5	1.03
人口集中地区面積 (ha)	190	640	2,340	2,390	2,640	2,770	2,718	2,711	2,815	2,874	1.04

出典：国勢調査



出典：国勢調査

図 人口集中地区の現状及び推移

(2) 人口集中地区の変遷

人口集中地区の変遷をみると、市制施行直後の 1970 年は上野町と横須賀町の中心に、1980 年は名和駅周辺、尾張横須賀駅、高横須賀駅周辺等の内陸部に拡大して行き、その後、太田川駅周辺、八幡新田駅周辺、南加木屋駅周辺にも拡大して現在に至っています。

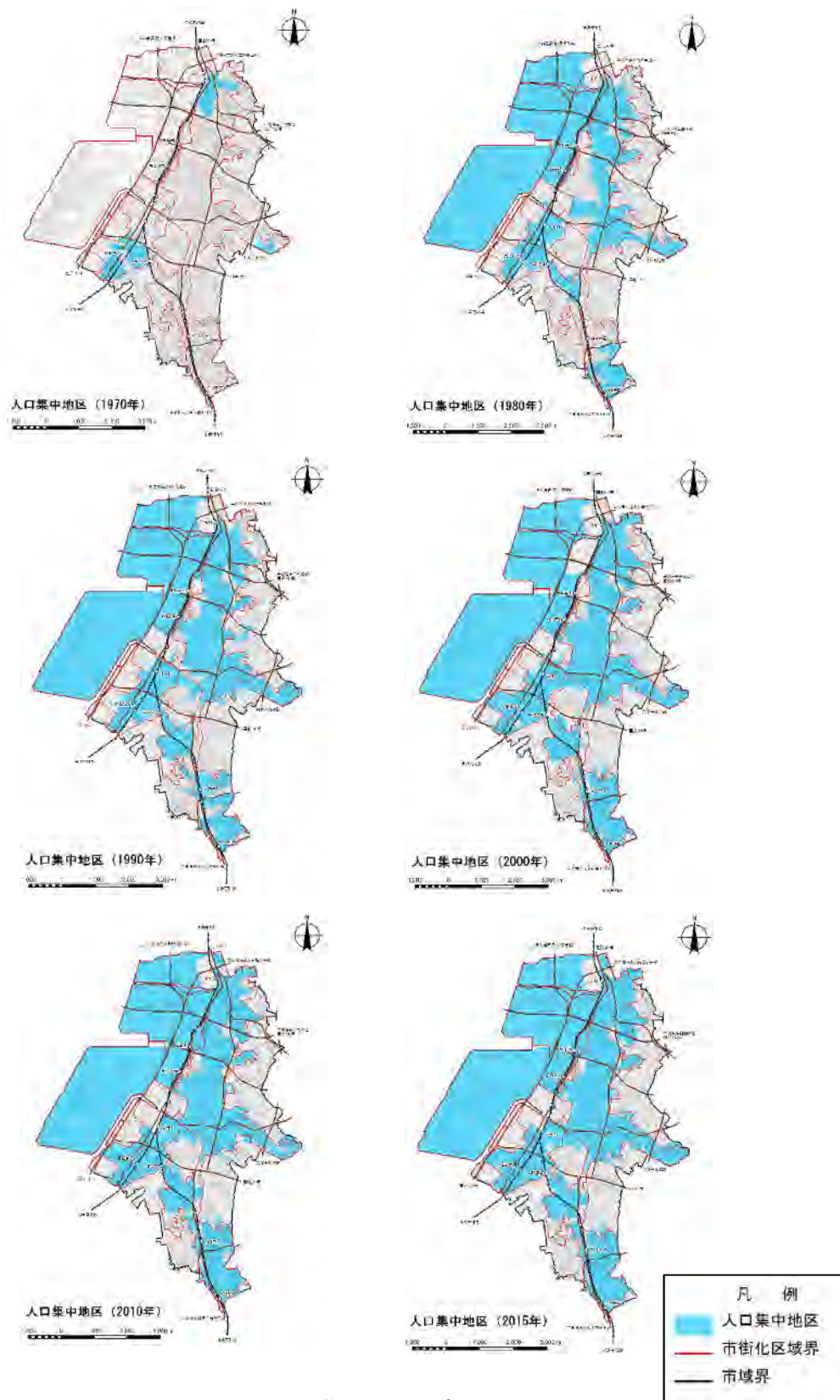


図 人口集中地区の変遷

3. 公共交通の状況

3.1. 鉄道

(1) 運行本数、乗降客数

本市には、名鉄の駅が8駅あり、名鉄常滑線・名鉄河和線が太田川駅で分岐しています。停車列車の状況及び運行本数をみると、太田川駅は本市の中心的な駅となっています。なお、ピーク時の運行本数は、1時間当たり各駅とも4本以上となっています。

各駅の一日平均乗降客数をみると、2020年では、新型コロナウイルス感染症*拡大の影響により、各駅とも利用者が減少していますが、感染拡大前の2019年では、太田川駅が最も多く約21,000人であり、次いで南加木屋駅が約8,000人、聚楽園駅が約7,000人となっていました。

表 運行本数

駅名	停車列車 (○：全車停車、△：一部停車)						運行本数 (平日・本)		
	ミュー スカイ	特急	快速 急行	急行	準急	普通	上り	下り	ピーク 時
名和駅						○	73	71	5
聚楽園駅			△	△	○	○	112	103	9
新日鉄前駅						○	73	71	5
太田川駅	△	○	○	○	○	○	216	252	15
尾張横須賀駅	△	○	○	○	○	○	112	109	9
高横須賀駅						○	59	68	4
南加木屋駅		△	○	○	○	○	102	129	9
八幡新田駅						○	59	68	4

出典：名古屋鉄道時刻表（2021.8.1時点）

表 一日平均乗降客数の推移

駅名	一日平均乗降客数 (人)						増減比
	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2020/2015
名和駅	5,436	5,359	5,515	5,569	5,706	4,714	0.87
聚楽園駅	5,951	6,142	6,314	6,631	6,671	5,591	0.94
新日鉄前駅	1,894	1,932	1,889	2,016	2,080	1,446	0.76
太田川駅	17,623	18,566	19,445	20,310	20,593	14,656	0.83
尾張横須賀駅	5,381	5,394	5,472	5,549	5,505	4,280	0.80
高横須賀駅	2,865	2,959	3,086	3,055	3,083	2,681	0.94
南加木屋駅	7,961	8,121	8,244	8,342	8,439	7,101	0.89
八幡新田駅	2,407	2,401	2,486	2,605	2,635	2,210	0.92
計	49,518	50,874	52,451	54,077	54,712	42,679	0.87

出典：東海市資料

(2) 駅徒歩圏人口

名鉄常滑線・名鉄河和線の各駅から1キロメートル圏*の駅徒歩圏人口は、2016年には64,938人で全体人口の57.1%でしたが、2021年は66,236人で全体人口の57.8%であり、概ね横ばいです。

表 駅徒歩圏人口

	2016年		2021年	
	人口 (人)	割合	人口 (人)	割合
全体人口	114,727	100.0%	114,615	100%
駅徒歩圏人口	64,938	57.1%	66,236	57.8%
うち名和駅	8,818	7.8%	8,775	7.7%
うち南加木屋・八幡新田駅	19,728	17.3%	20,232	17.7%
うち上記以外の駅	36,392	32.0%	37,229	32.5%
駅徒歩圏外人口	48,789	42.9%	48,379	42.2%

(各年4月1日時点)



図 駅1km圏域

* アクセシビリティ指標活用の手引き（案）（国土技術政策総合研究所）による徒歩圏

3.2. バス

(1) 運行本数、利用状況

本市のバスは、路線バス2路線及び循環バス3ルートがあり、駅や主な施設等を接続し公共交通のネットワークを形成しています。このうち路線バスの上野台線の運行本数は30便であり、太田川駅とJR共和駅を結んでいます。また、路線バスの横須賀線は尾張横須賀駅とJR大府駅を結んでいますが、運行本数は上野台線に比べて少ない状況です。

循環バスの年間利用者数の推移をみると、2017年まで増加傾向にあり、それ以降はほぼ横ばいとなっていました。2020年は新型コロナウイルスの影響もあり減少しています。

表 運行本数

種別	路線名	運行本数（平日・本）		
		上り	下り	ピーク時
路線バス	上野台線	29	30	3
	横須賀線	19	17	2
循環バス	北ルート	系統1：10便、系統2：10便		
	中ルート	系統3：10便、系統4：11便		
	南ルート	系統5：11便、系統6：10便		

出典：東海市・知多バス資料（2021.10.1時点）

表 年間利用者数の推移

種別	年間利用者数（人）					増減比
	2016	2017	2018	2019	2020	2020/2016
循環バス	386,330	437,928	439,172	439,646	299,336	0.77

出典：東海市資料



(循環バス)

(2) バス停徒歩圏人口

市内で運行されている路線バス及び循環バスの各バス停から 500 メートル圏[※]のバス停徒歩圏人口は、2016 年には 111,564 人で全体人口の 98.1%でしたが、2021 年は 112,102 人で全体人口の 97.8%であり、概ね横ばいです。

表 バス停徒歩圏人口

	2016 年		2021 年	
	人口 (人)	割合	人口 (人)	割合
全体人口	113,727	100.0%	114,615	100.0%
バス停徒歩圏人口	111,564	98.1%	112,102	97.8%
バス停徒歩圏外人口	2,163	1.9%	2,513	2.2%

(各年 4 月 1 日時点)



(2021. 10. 1 時点)

図 バス停 500m圏域

[※] アクセシビリティ指標活用の手引き（案）（国土技術政策総合研究所）による徒歩圏

(3) 循環バス（らんらんバス）に関するアンケート

東海市地域公共交通会議が循環バスの統合・再編の効果を検証・評価するために実施したアンケート調査（2013年11月）によると、バスの必要性については、約82%が必要と考えています。

一方、バスの利用状況では、約76%の人が利用しないと回答しており、その理由は「他の交通手段のほうが便利」、「運行本数が少ない」、「乗りたい時間にバスがない」が多くなっています。

循環バスをより利用するための必要な改善策は、「運行本数の増加」が最も多く、次いで「バス停・ルートの新設」、「所要時間の短縮」、「鉄道との乗り継ぎの工夫」が多くなっています。

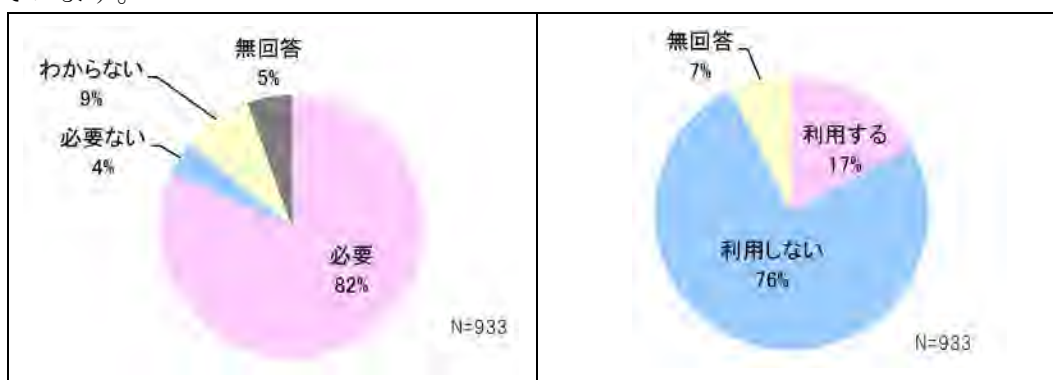


図 バスの必要性

図 バスの利用状況

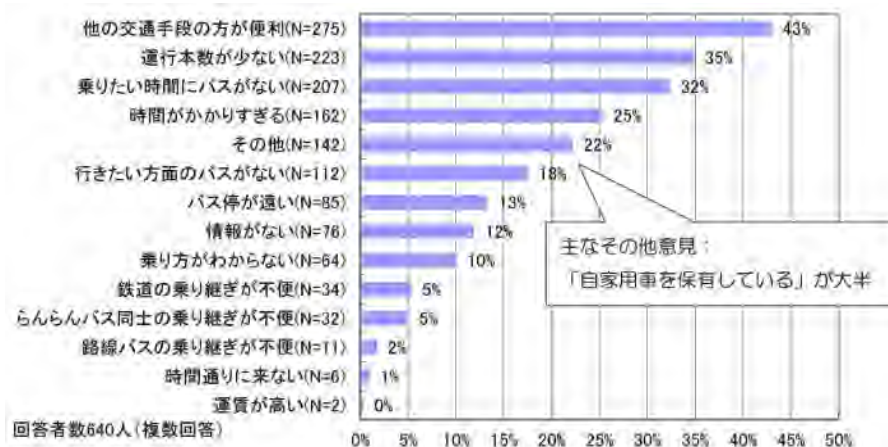


図 バスを利用しない理由

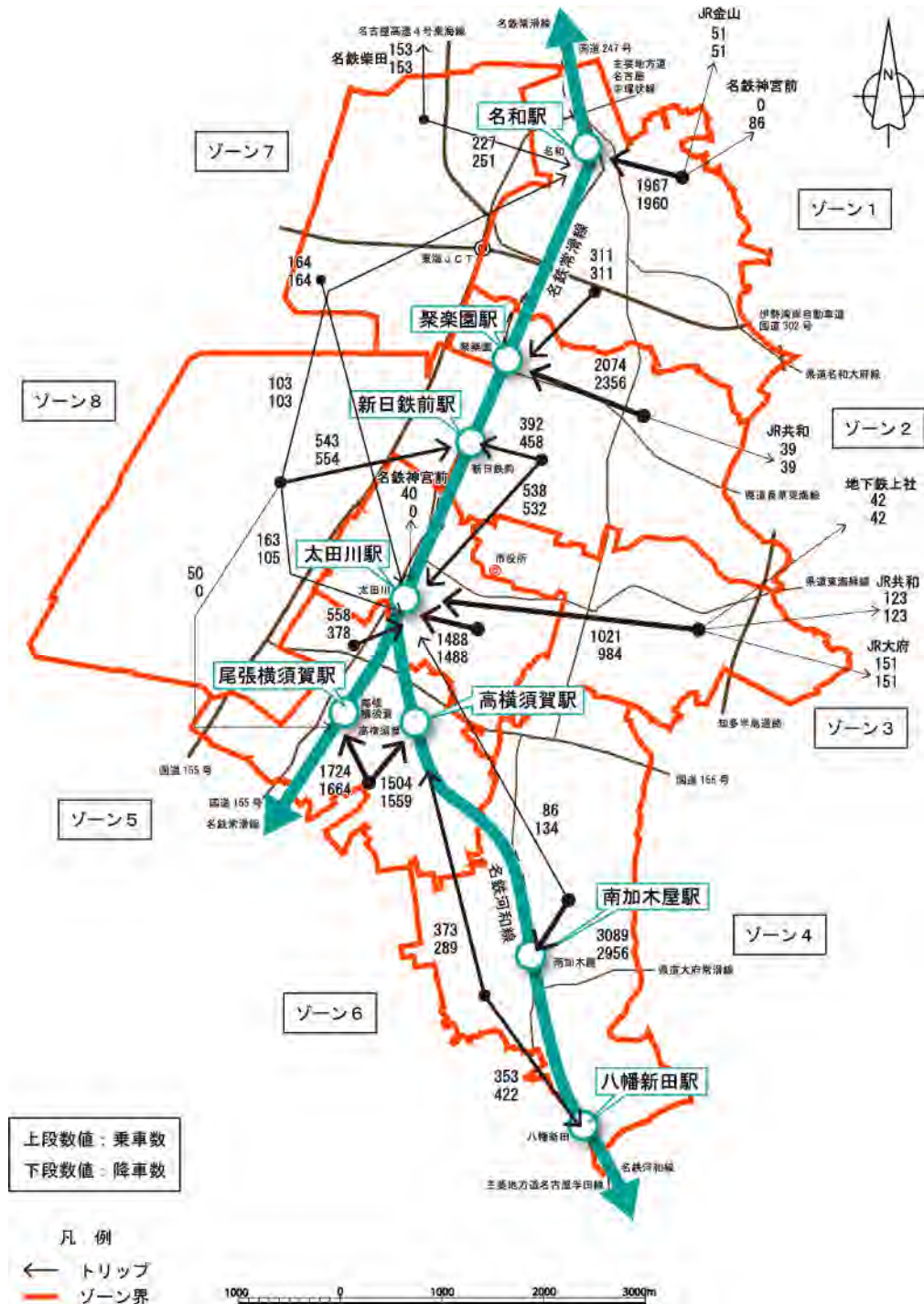


図 循環バスをより利用するための改善策

3. 3. 交通による移動状況

(1) 市内からの駅利用状況

第5回中京都市圏パーソントリップ調査(2011年)によると、市内からの利用が多い駅は、太田川駅となっています。また、ゾーン5(尾張横須賀駅周辺)のように、複数の駅を利用するゾーンもみられます。また、鉄道から遠距離にあるゾーン2やゾーン3では、隣接市の駅(JR共和駅、大府駅)の利用もみられます。

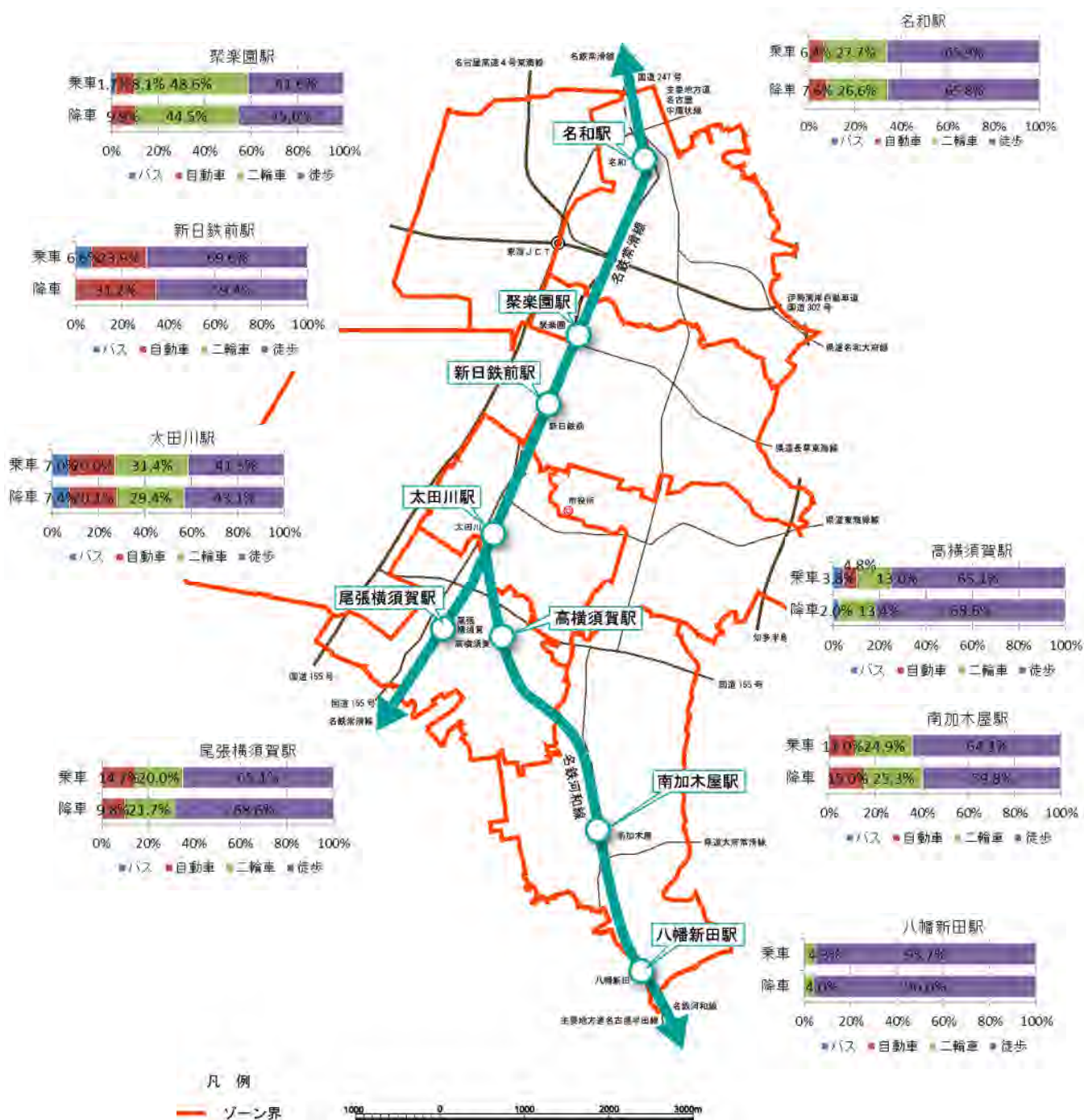


出典：第5回中京都市圏パーソントリップ調査(2011年)

図 市内からの駅利用状況(平日)

(2) 駅までの移動手段

駅までの移動手段をみると、名和駅、新日鉄前駅、尾張横須賀駅、高横須賀駅、南加木屋駅、八幡新田駅は徒歩が約6割であることから、周辺地域の人の利用が大半であると考えられます。聚楽園駅は、徒歩以外にも二輪車の割合が高く、利用される範囲が広いと考えられます。太田川駅は、自動車、バスの割合が高く、交通結節点*となっていることが考えられます。



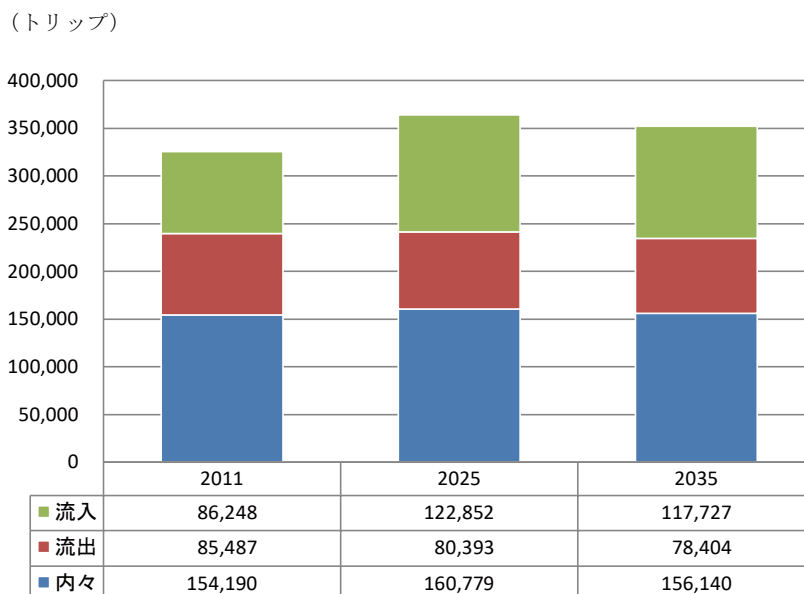
出典：第5回中京都市圏パーソントリップ調査（2011年）

図 駅までの移動手段

(3) トリップ数の状況

① トリップ数の現状と将来推計

トリップ数の現状をみると、全トリップ数は325,925トリップであり、内々移動47.3%、流出26.2%、流入26.5%となっています。トリップ数の将来推計をみると、流入は2025年は増加し、2035年に減少しています。流出は2025年、2035年とも減少傾向となっています。

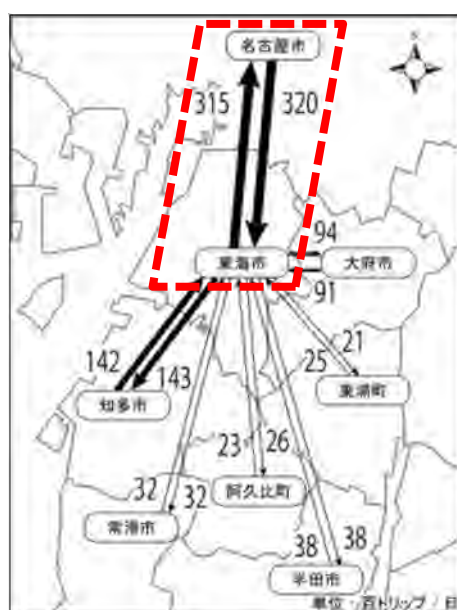


出典：第5回中京都市圏パーソントリップ調査（2011年）

図 トリップ数の現状と将来推計

② 周辺市町への移動状況

周辺市町への移動状況をみると、名古屋市、知多市、大府市等の隣接する都市との移動が多くみられ、特に名古屋市との結びつきが強くなっています。



出典：第5回中京都市圏パーソントリップ調査（2011年）

図 周辺市町への移動状況

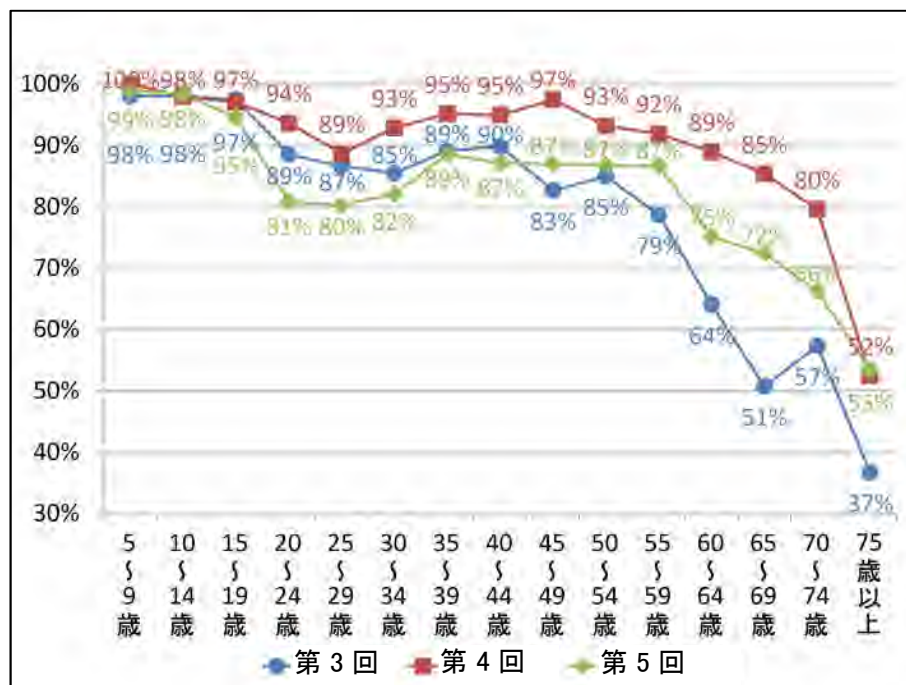
(4) 年齢別外出割合

年齢別外出割合をみると、59歳まではほぼ9割となっていますが、60歳を超えると減少傾向となり、75歳以上では約5割程度まで低下しており、高齢になるほど外出割合が減少傾向となっています。

表 年齢別外出割合

年齢区分	第3回 (1991年)				第4回 (2001年)				第5回 (2011年)			
	外出あり (人)	外出なし (人)	総計 (人)	外出割合 (%)	外出あり (人)	外出なし (人)	総計 (人)	外出割合 (%)	外出あり (人)	外出なし (人)	総計 (人)	外出割合 (%)
1) 5～9歳	5,833	115	5,948	98	5,053	0	5,053	100	5,920	65	5,985	99
2) 10～14歳	6,419	130	6,549	98	5,233	109	5,342	98	5,532	92	5,624	98
3) 15～19歳	8,244	213	8,457	97	5,658	174	5,832	97	5,293	304	5,597	95
4) 20～24歳	7,744	1,004	8,748	89	6,277	425	6,702	94	5,262	1,253	6,515	81
5) 25～29歳	6,280	970	7,250	87	8,144	1,044	9,188	89	5,904	1,452	7,356	80
6) 30～34歳	4,846	822	5,668	85	8,129	626	8,755	93	6,665	1,456	8,121	82
7) 35～39歳	6,465	790	7,255	89	6,212	318	6,530	95	8,424	1,089	9,513	89
8) 40～44歳	8,079	917	8,996	90	4,909	263	5,172	95	7,426	1,100	8,526	87
9) 45～49歳	6,081	1,277	7,358	83	6,749	178	6,927	97	5,548	832	6,380	87
10) 50～54歳	6,724	1,190	7,914	85	7,899	578	8,477	93	4,903	749	5,652	87
11) 55～59歳	4,373	1,185	5,558	79	6,325	558	6,883	92	5,282	813	6,095	87
12) 60～64歳	2,914	1,635	4,549	64	6,067	755	6,822	89	5,705	1,893	7,598	75
13) 65～69歳	1,457	1,416	2,873	51	4,151	712	4,863	85	4,300	1,638	5,938	72
14) 70～74歳	1,349	1,005	2,354	57	2,647	680	3,327	80	3,665	1,869	5,534	66
15) 75歳以上	1,003	1,732	2,735	37	2,683	2,433	5,116	52	4,451	3,884	8,335	53
総計	77,811	14,401	92,212	84	86,136	8,853	94,989	91	84,280	18,489	102,769	82

資料：第3回、第4回、第5回中京都市圏パーソントリップ調査



資料：第3回、第4回、第5回中京都市圏パーソントリップ調査

図 年齢別外出割合

4. 生活サービス施設等の立地状況

4.1. 商業施設

(1) スーパーマーケット等

スーパーマーケット、ショッピングセンターは、主要地方道名古屋半田線等の幹線道路沿道のほか、太田川駅等の駅周辺に立地しています。

表 スーパーマーケット等

分類	図面 対象 番号	施設名
スーパー マーケット	1	MEGAドン・キホーテ東海名和店
	2	スーパーマーケットバロー名和店
	3	フィールホームタウン
	4	マックスバリュ東海荒尾店
	5	ラスパ太田川（MEGAドン・キホーテUNY太田川店）
	6	ヤマナカ東海店
	7	スーパーマーケットバロー上野台店
	8	ヤマナカ高横須賀店
	9	生鮮館ウシヒロ
	10	スーパーマーケットバロー加木屋店
	11	アオキスーパー 加木屋店
ショッピング センター	12	アピタ東海荒尾店
	13	ソラト太田川（にぎわい市場マルス太田川店）

出典：iタウンページ（2021.10.1時点）

II. 現況特性の整理

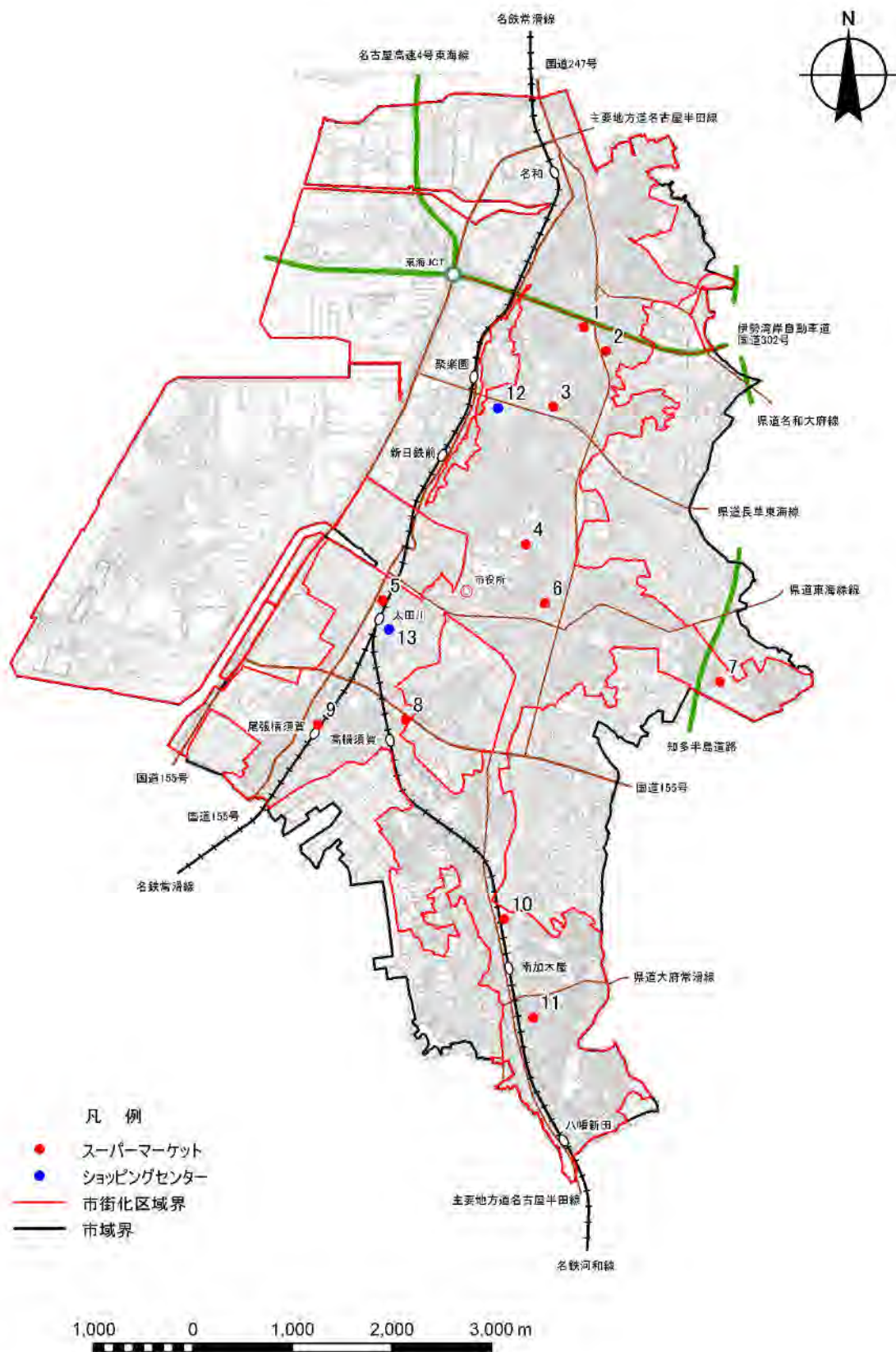


図 スーパーマーケット等分布

(2) コンビニエンスストア

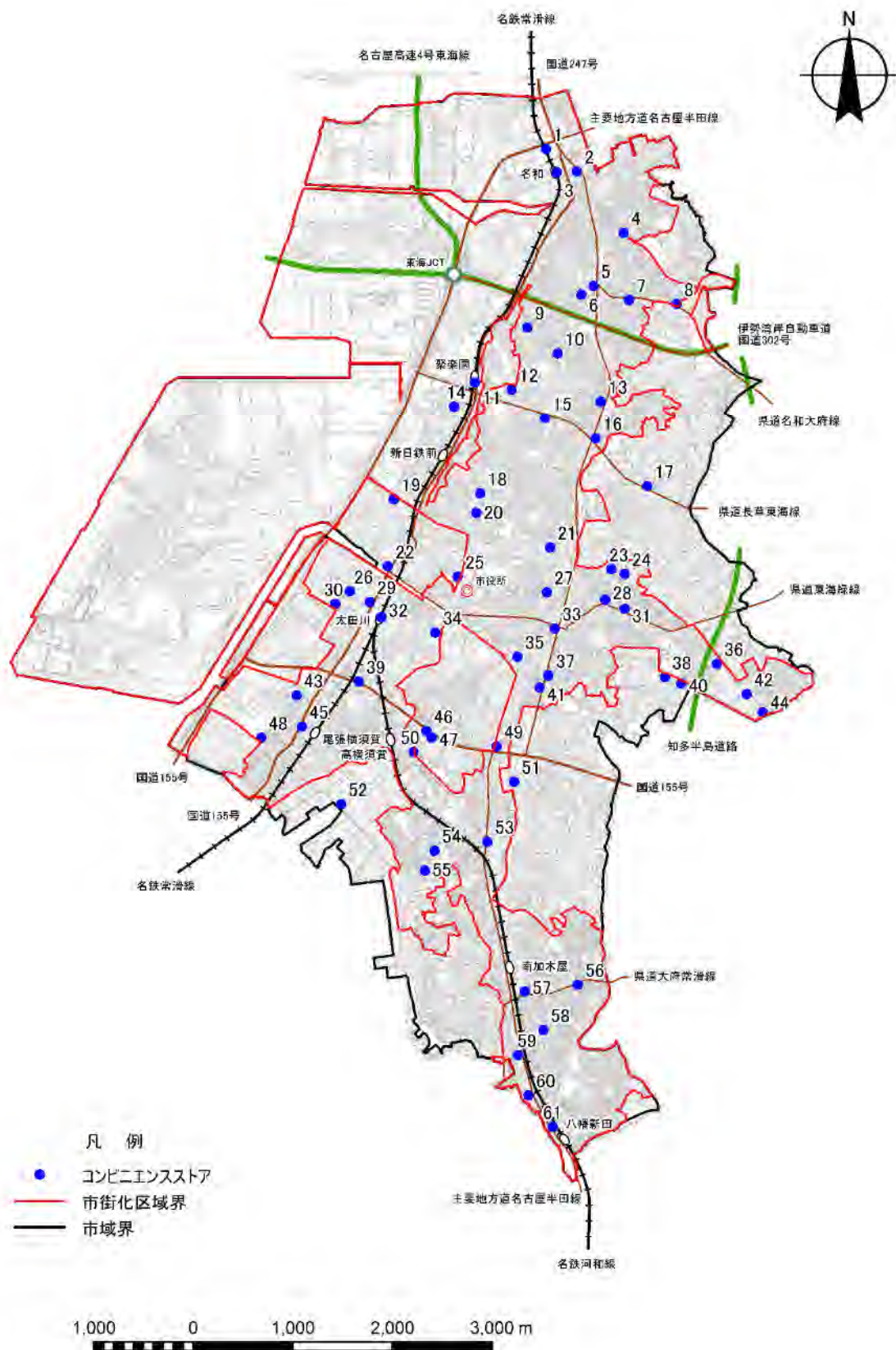
コンビニエンスストアは、市内各所に立地しています。

表 コンビニエンスストア

図面 対象 番号	施設名	図面 対象 番号	施設名
1	ローソン／名和店	32	ファミリーマート／太田川駅店
2	セブン-イレブン／東海市名和駅東店	33	ローソン／東海富木島店
3	ファミリーマート／名和駅前店	34	ローソン／大田小学校前店
4	セブン-イレブン／東海市名和町店	35	ファミリーマート／東海中央町店
5	セブン-イレブン／東海市名和町二反表店	36	セブン-イレブン／東海市上野台店
6	ローソン／東海名和町店	37	ファミリーマート／東海富木島店
7	ファミリーマート／東海秋葉店	38	セブン-イレブン／東海市富木島新藤棚店
8	ローソン／平地公園前店	39	ファミリーマート／東海高横須賀店
9	ファミリーマート／東海関東山店	40	ファミリーマート／東海東山店
10	ファミリーマート／東海名和町店	41	ローソンストア100／東海富木島店
11	ローソン／愛知製鋼本社前店	42	ファミリーマート／東海上野台店
12	ファミリーマート／東海しあわせ村店	43	ファミリーマート／横須賀町店
13	ファミリーマート／東海山ノ神店	44	ミニストップ／上野台店
14	ファミリーマート／東海荒尾インター東店	45	ファミリーマート／津知屋横須賀店
15	セブン-イレブン／東海市荒尾町店	46	ファミリーマート／高横須賀駅東店
16	ファミリーマート／東海渡内店	47	セブン-イレブン／東海市高横須賀町店
17	セブン-イレブン／東海市洞ヶ山店	48	ローソン／東海元浜町店
18	セブン-イレブン／東海市富貴ノ台店	49	セブン-イレブン／東海市内堀南店
19	セブン-イレブン／東海市東海町3丁目店	50	ローソンストア100／東海高横須賀店
20	ファミリーマート／東海富貴ノ台店	51	セブン-イレブン／東海市加木屋町榎店
21	ファミリーマート／東海北見田店	52	セブン-イレブン／東海市養父町店
22	セブン-イレブン／東海市大田町店	53	ローソン／加木屋辻ヶ花店
23	セブン-イレブン／東海市富木島町貴船店	54	セブン-イレブン／KOYO 西知多総合病院店
24	ファミリーマート／才道店	55	ファミリーマート／東海中ノ池店
25	セブン-イレブン／東海市役所前店	56	ローソン／東海加木屋町店
26	ローソン／東海大田店	57	セブン-イレブン／東海市加木屋町1丁目店
27	セブン-イレブン／東海市富木島前田面店	58	ファミリーマート／東海加木屋町店
28	ローソン／東海富木島長田店	59	セブン-イレブン／東海市加木屋町中平地店
29	ファミリーマート／東海太田川店	60	ローソンストア100／東海加木屋店
30	セブン-イレブン／東海市日本福祉大学前店	61	ファミリーマート／東海八幡新田店
31	セブン-イレブン／東海市富木島山中店		

出典：iタウンページ 各社ホームページ (2021.10.1時点)

II. 現況特性の整理



出典：iタウンページ、各社ホームページ（2021.10.1時点）

図 コンビニエンスストア分布

4.2. 医療施設

(1) 内科又は外科のある病院・診療所

高齢者に関連する医療施設として、内科又は外科のある病院は2院、診療所は33か所あります。市内各所に立地していますが、名和駅周辺、尾張横須賀駅周辺に比較的多く分布しています。

表 内科又は外科のある病院・診療所

分類	図面 対象 番号	施設名	分類	図面 対象 番号	施設名	
病院	1	小嶋病院		21	石橋クリニック	
	2	公立西知多総合病院		22	医療法人まつしまクリニック	
診療所	3	こじま内科	診療所	23	吉田医院	
	4	はっとり整形外科		24	クリスタルファミリークリニック	
	5	村田メディカルクリニック		25	久野整形外科	
	6	いそがいクリニック		26	中村医院 眼科内科	
	7	大橋内科		27	のばたクリニック	
	8	早川医院		28	池田医院	
	9	さんのうメディカルクリニック		29	内科・外科 日比野クリニック	
	10	じんのクリニック		30	かとう内科こどもクリニック	
	11	富貴ノ台ファミリークリニック		31	こいで内科医院	
	12	如来山内科・外科クリニック		32	あさくらクリニック	
	13	久保田医院		33	加木屋脳神経内科クリニック	
	14	社会医療法人 宏潤会 中央クリニック		34	ニイミ医院	
	15	久野医院		35	加南クリニック	
	16	K a K o M E D I C A L l i f e C L I N I C				
	17	まちい内科クリニック				
	18	みわホームクリニック				
	19	南医療生活協同組合富木島診療所				
	20	小川糖尿病内科クリニック				

出典：東海市資料（2021.10.1時点）

II. 現況特性の整理

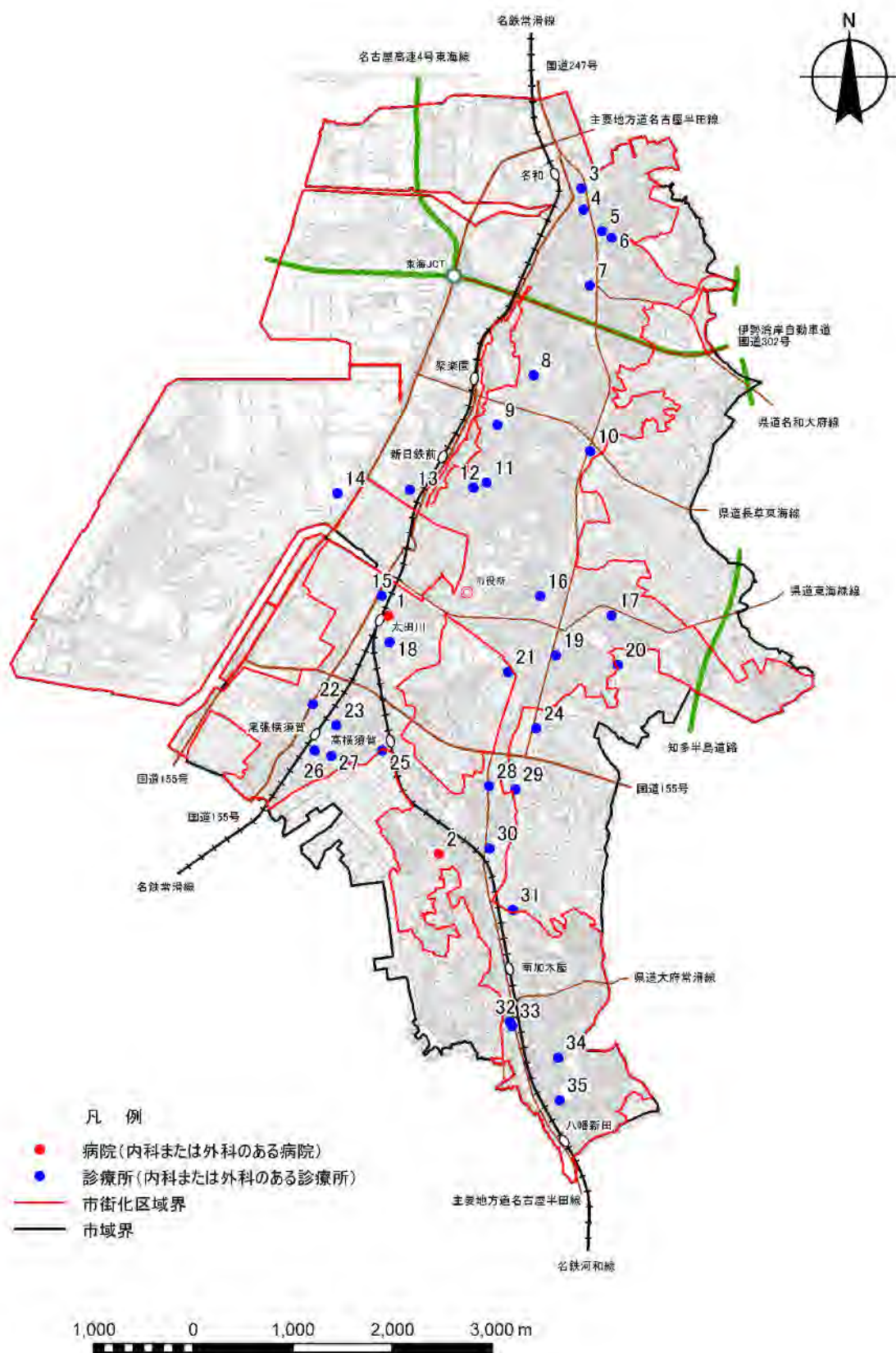


図 内科又は外科のある病院・診療所分布

(2) 小児科のある病院・診療所

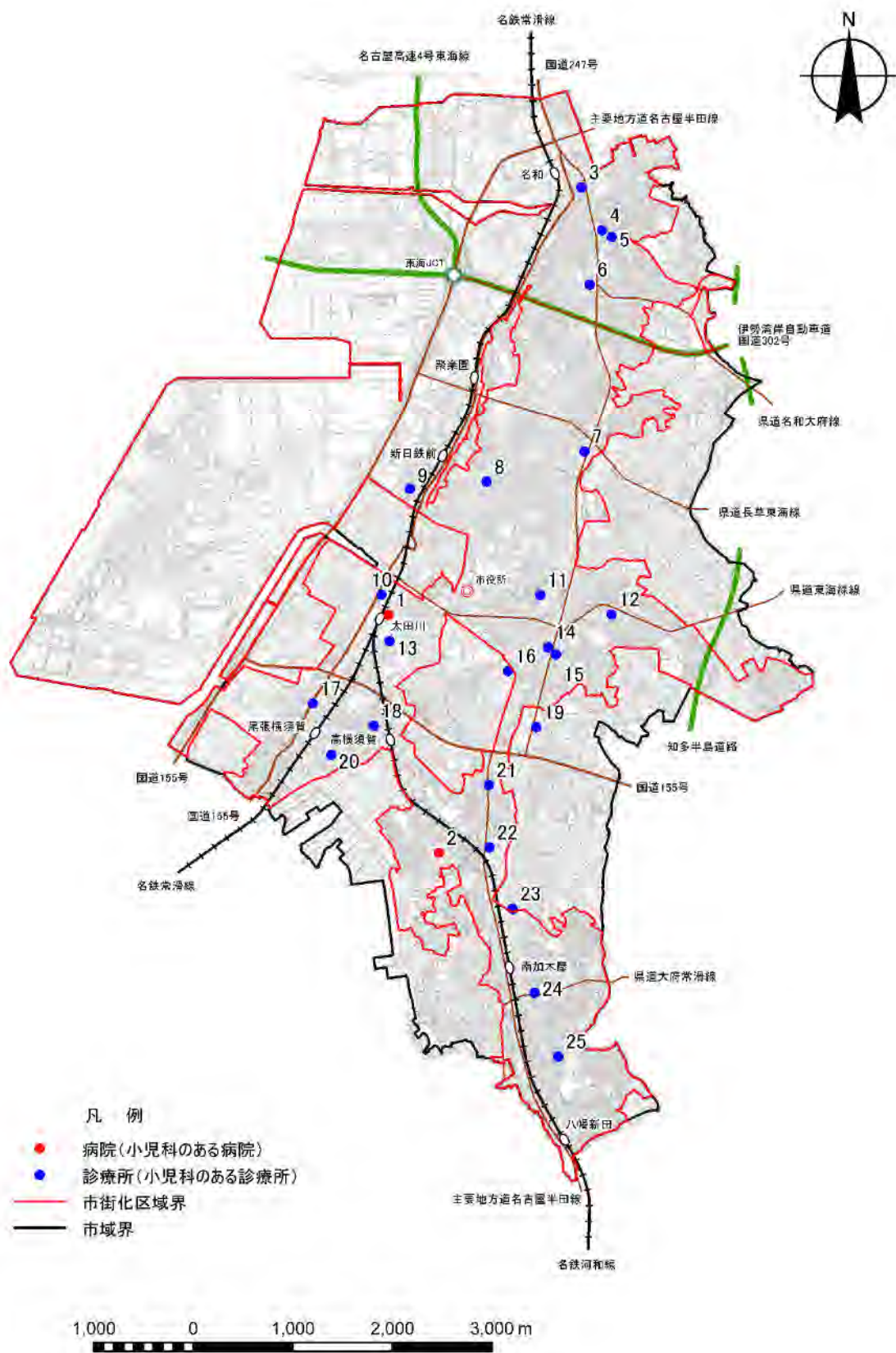
子育て世代に関連する医療施設として、小児科のある病院は2院、診療所は23か所あり、市内各所に立地しています。

表 小児科のある病院・診療所

分類	図面 対象 番号	施設名
病院	1	小嶋病院
	2	公立西知多総合病院
診療所	3	こじま内科
	4	村田メディカルクリニック
	5	いそがいクリニック
	6	大橋内科
	7	もしもしこどもクリニック
	8	富貴ノ台ファミリークリニック
	9	久保田医院
	10	久野医院
	11	K a K o M E D I C A L l i f e C L I N I C
	12	まちい内科クリニック
	13	みわホームクリニック
	14	もたい耳鼻咽喉科
	15	南医療生活協同組合富木島診療所
	16	石橋クリニック
	17	医療法人まつしまクリニック
	18	小児科 ハヤカワ医院
	19	クリスタルファミリークリニック
	20	のばたクリニック
	21	池田医院
	22	かとう内科こどもクリニック
	23	こいで内科医院
	24	かぎやこどもクリニック
	25	ニイミ医院

出典：東海市資料（2021.10.1時点）

II. 現況特性の整理



出典：東海市資料（2021.10.1時点）

図 小児科のある病院・診療所分布

4. 3. 子育て支援施設及び教育施設

(1) 保育施設、幼稚園

保育施設は 47 施設、幼稚園は 4 園あり、市内各所に立地しています。また、子育て支援センターが 3 施設あります。

表 保育施設、幼稚園

分類		図面 対象 番号	施設名
保育施設	公立 認可施設	1	一番畑保育園
		2	名和東保育園
		3	名和保育園
		4	渡内保育園
		5	平洲保育園
		6	みどり保育園
		7	木庭保育園
		8	明倫保育園
		9	富木島保育園
		10	大田保育園
		11	東山保育園
		12	横須賀保育園
		13	高横須賀保育園
		14	養父保育園
		15	加木屋保育園
		16	三ツ池保育園
		17	大堀保育園
		18	加木屋南保育園
	私立 認可施設	19	Memorytree 名和北保育園
		20	名和駅前サンフレンズ保育園
		21	Memorytree 名和町保育園
		22	さくらんぼの夢
		23	荒尾サンフレンズ保育園
		24	めいてつ保育ステーション大池公園ぽっぽ園
		25	エチュード上野台
		26	Memorytree 太田川保育園
		27	Memorytree 伏見保育園
		28	はな保育室たかよこすか
		29	加木屋町サンフレンズ保育園
		30	明佳幼稚園
		31	はな保育室かぎや
	認可外 施設*	32	東海さくらのみち保育園
		33	Kids Lanad まほろば
		34	ヤクルト東海センター保育ルーム

Ⅱ. 現況特性の整理

分類		図面 対象 番号	施設名
保育施設	認可外 施設	35	マリーアグランマ保育園
		36	めいてつ保育ステーション太田川ぼっぼ園
		37	マリーアグランマ保育園ふしみ園
		38	マリーアグランマ保育園 DREAMS
		39	東海ナーサリー
		40	インターナショナルスクールハッピー保育園
		41	ベティさんの家キッズルーム太田川
		42	特別養護老人ホーム セレナ東海事業所内保育所
		43	インターナショナルスクールなかよし保育園
		44	星の園
		45	公立西知多総合病院 院内保育所 さくらんぼハウス
		46	特別養護老人ホーム 東海福寿園
		47	チャイルドハウス東海
幼稚園		48	葵名和幼稚園
		49	東海めぐみ幼稚園
		50	上野台幼稚園
		51	雨尾幼稚園
子育て 支援センター		52	子育て総合支援センター
		53	北部子育て支援センター
		54	南部子育て支援センター

出典：東海市資料（2021. 10. 1 時点）

II. 現況特性の整理

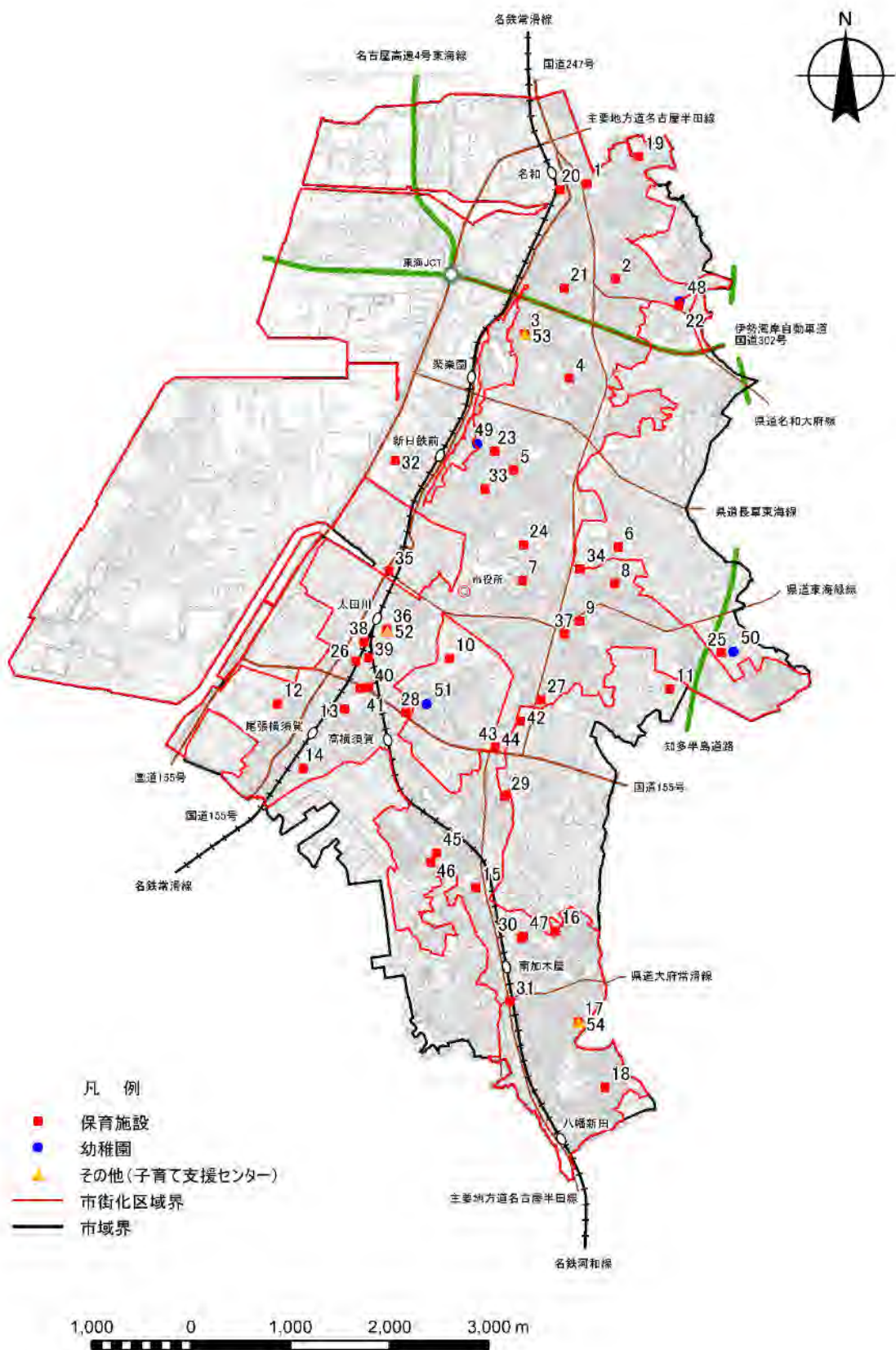


図 保育施設、幼稚園分布

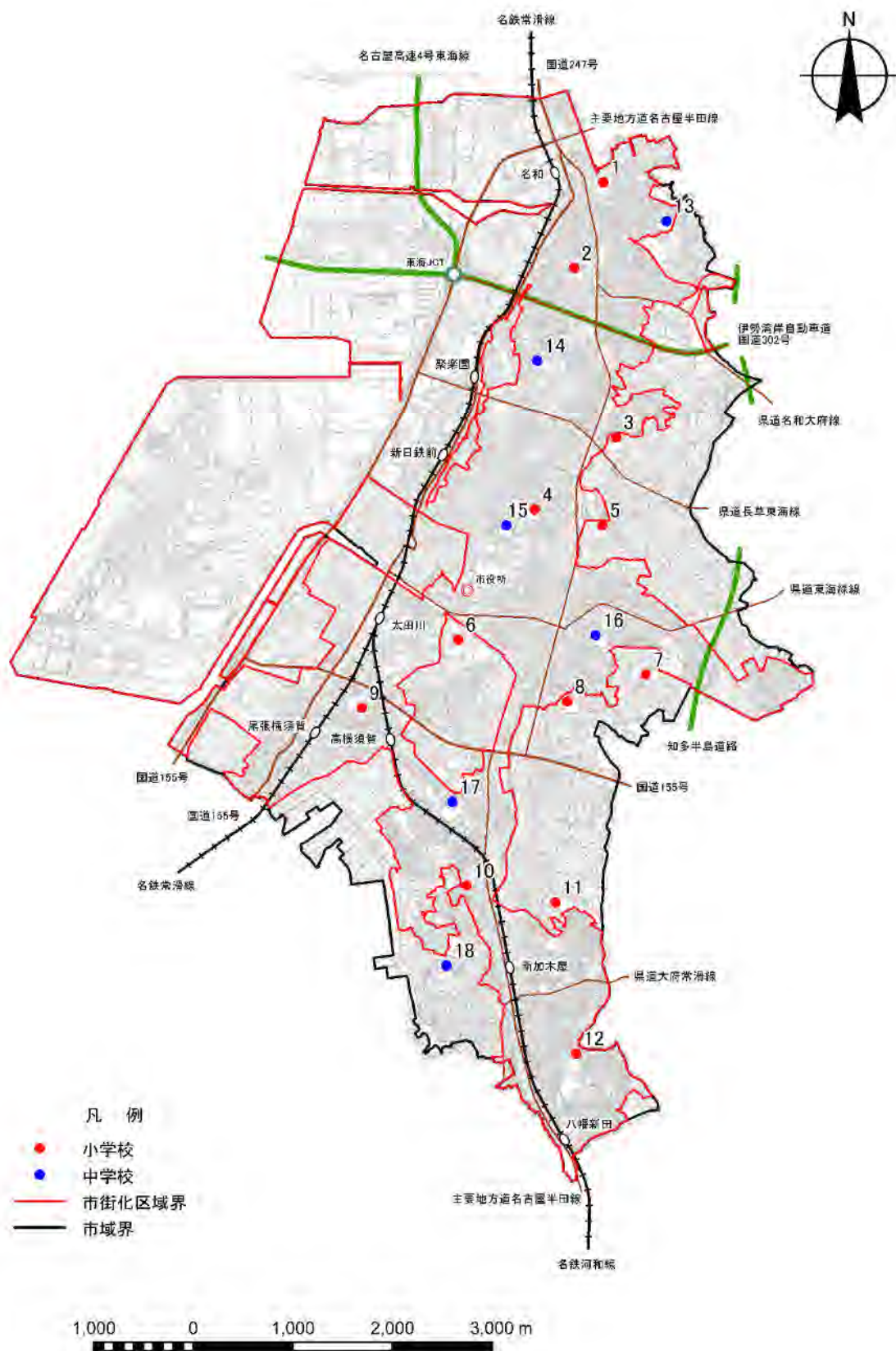
(2) 小学校、中学校

小学校は12校、中学校は6校あります。

表 小学校、中学校

分類	図面 対象 番号	施設名
小学校	1	緑陽小学校
	2	名和小学校
	3	渡内小学校
	4	平洲小学校
	5	明倫小学校
	6	大田小学校
	7	富木島小学校
	8	船島小学校
	9	横須賀小学校
	10	加木屋小学校
	11	三ツ池小学校
	12	加木屋南小学校
中学校	13	名和中学校
	14	上野中学校
	15	平洲中学校
	16	富木島中学校
	17	横須賀中学校
	18	加木屋中学校

出典：東海市資料（2016.10.1時点）



出典：東海市資料（2016.10.1時点）

図 小学校、中学校分布

4.4. 介護福祉施設

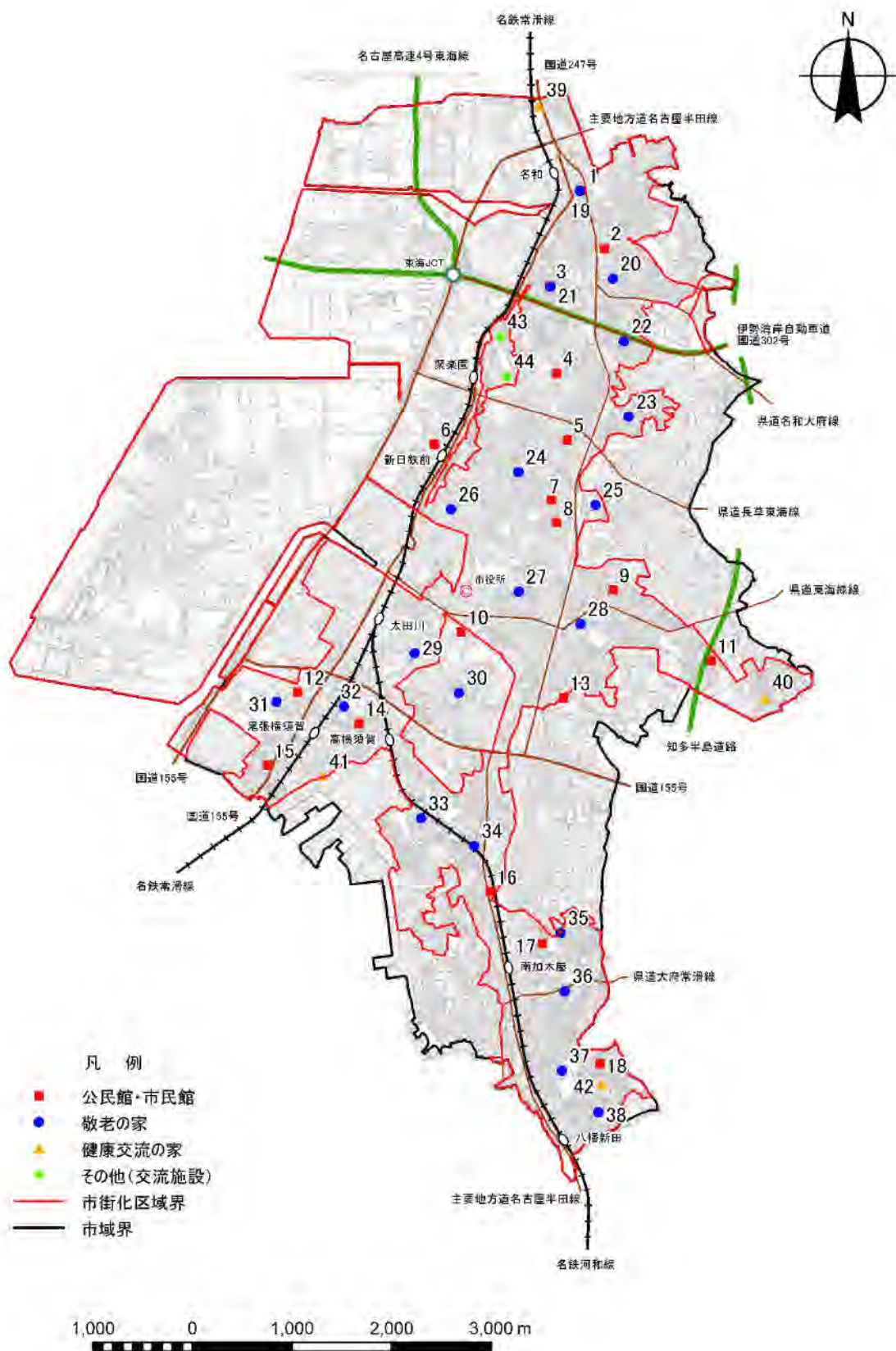
(1) 高齢者交流施設

高齢者の集いの場等となる交流施設は、公民館、市民館、敬老の家、健康交流の家等が、市内各所に立地しています。

表 高齢者交流施設

分類	図面 対象 番号	施設名	分類	図面 対象 番号	施設名		
公民館 市民館	1	緑陽市民館	敬老の家	23	渡内敬老の家		
	2	上名和公民館		24	平洲敬老の家		
	3	下名和公民館		25	明倫敬老の家		
	4	上野公民館		26	富貴ノ台敬老の家		
	5	渡内公民館		27	木庭敬老の家		
	6	加家公民館		28	富木島敬老の家		
	7	平島公民館		29	大田敬老の家		
	8	清水公民館		30	木田敬老の家		
	9	富田公民館		31	横須賀敬老の家		
	10	大田市民館		32	高横須賀敬老の家		
	11	富木島公民館		33	中ノ池敬老の家		
	12	横須賀公民館		34	加木屋敬老の家		
	13	船島市民館		35	三ツ池敬老の家		
	14	高横須賀公民館		36	大堀敬老の家		
	15	養父町公民館		37	加木屋南敬老の家		
	16	加木屋市民館		38	加木屋南第二敬老の家		
	敬老の家	17		三ツ池市民館	健康交流の家 その他	39	千鳥健康交流の家
		18		加木屋南市民館		40	上野台健康交流の家
19		緑陽敬老の家	41	養父健康交流の家			
20		名和東敬老の家	42	大池健康交流の家			
21		下名和敬老の家	43	嚶鳴庵			
22		上野ヶ丘敬老の家	44	健康ふれあい交流館			

出典：東海市資料（2021.10.1時点）



出典：東海市資料（2021. 10. 1 時点）

図 高齢者交流施設分布

(2) 高齢者介護施設

通所施設*、小規模多機能施設*等が市内各所に立地しています。

表 高齢者介護施設

通所	分類*				図面 対象 番号	施設名
	小規模	訪問	入所	センター		
○					1	デイサービス寄り処えんがわ
○					2	アクアデイサービス東海名和
○					3	アクアデイサービスのぶちゃん
○					4	デイサービスセンター東萌山苑
○					5	レモン南之山デイサービスセンター
○					6	東海市しあわせ村通所介護事業所
○					7	いこいの郷 聚楽園
○					8	通所介護事業所 レモンの樹
○					9	デイサービスフィットネスかえで
○					10	笑門デイサービスセンター
○					11	ポシブル太田川
○					12	富木島診療所デイケア
○					13	カイトリハビリテーション上野台
○					14	デイサービスおいでん！3丁目
○					15	デイサービス ハート
○					16	蘭の館 デイサービス
○					17	蘭の里 通所介護館
○					18	リハビリデイサービスふくろう倶楽部
○					19	リハビリデイサービスふくろう倶楽部 mini
○					20	ノッポさんのデイサービス 東海
○					21	シニアフィットネス・デイサービス 歩きま笑
○					22	特定非営利活動法人 東海市在宅介護家事援助の会 ふれ愛
○					23	ひまわりテラス
○					24	デイサービスセンター いこい
○					25	東海福寿園デイサービスセンター
○					26	東海福寿園デイサービスセンター 認知症型
○					27	カイトリハビリテーション
○					28	リハトレはままつ
○					29	ポシブル加木屋
○					30	ニコニコデイサービスセンター
○					31	いやしの森デイサービス
○					32	デイサービスセンター元気
○					33	東海市加木屋通所介護事業所
	○				34	小規模多機能ザストーリー東海
	○				35	生協のんびり村 小規模多機能ホームおさぼり
		○			36	訪問介護本舗シエル
		○			37	訪問看護ステーション Legato (レガート)
		○			38	訪問看護ステーション 明楽
		○			39	東海市しあわせ村訪問介護事業所
		○			40	レモン訪問介護事業所
		○			41	ヘルパーステーション かえで

* 各施設の分類

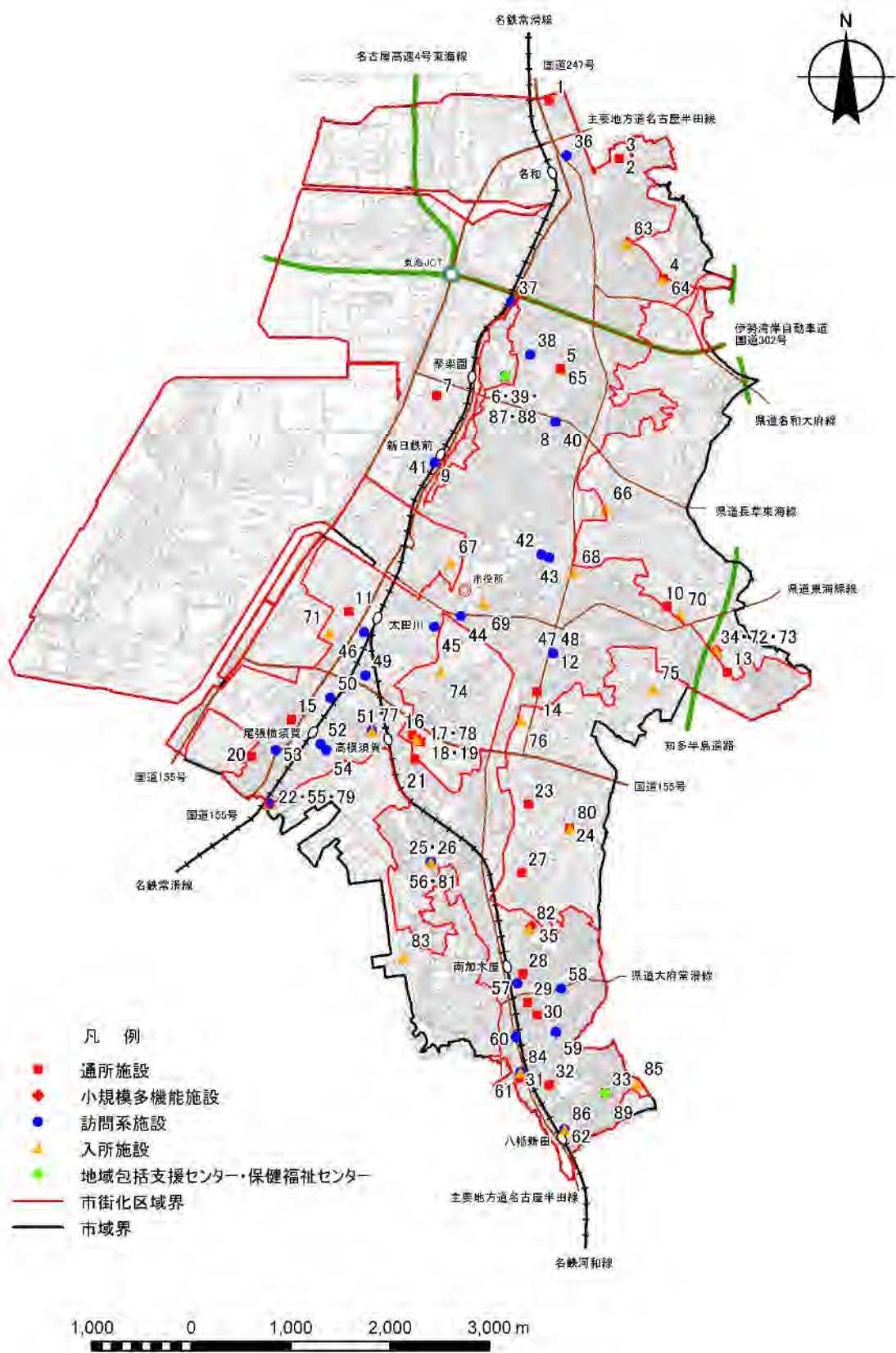
通所：通所施設、小規模：小規模多機能施設、訪問：訪問系施設、入所：入所施設、センター：地域包括支援センター、健康福祉センター

Ⅱ. 現況特性の整理

通所	分類※				図面 対象 番号	施設名
	小規模	訪問	入所	センター		
		○			42	ニチイケアセンター東海中央
		○			43	訪問看護ステーション はんどあい
		○			44	アースサポート東海
		○			45	アサヒサンクリーン在宅介護センター東海
		○			46	ニチイケアセンター東海
		○			47	ヘルパーステーション いずみ
		○			48	南医療生活協同組合 訪問看護ステーションいずみ
		○			49	訪問看護ステーション あやめ東海
		○			50	訪問看護ステーションありす
		○			51	ヘルパーステーションひいらぎ
		○			52	ヘルパーステーション あさがお
		○			53	訪問看護ステーション どんぐり
		○			54	親愛介護サービス
		○			55	特定非営利活動法人東海市在宅介護家事援助の会 ふれ愛
		○			56	東海福寿園ヘルパーセンター
		○			57	訪問看護メロディ東海
		○			58	訪問看護ステーション 琴葉東海
		○			59	リッツ訪問看護リハビリステーションかぎや
		○			60	ふくぎ訪問看護ステーション
		○			61	ヘルパーステーションKOPかぎや
		○			62	ニチイケアセンター東海南
			○		63	ハートテラス名和
			○		64	特別養護老人ホーム 東萌山苑
			○		65	特別養護老人ホームレモンの樹東海
			○		66	グループホーム平洲
			○		67	グループホーム百の木東海
			○		68	グループホーム フレンズハウス富木島
			○		69	介護老人保健施設 東海
			○		70	ゆうえん東海
			○		71	ベティさんの家 太田川
			○		72	グループホーム ザストーリー東海
			○		73	特別養護老人ホーム ザストーリー東海
			○		74	グループホーム いこいの家 東海
			○		75	特別養護老人ホーム東海の里
			○		76	特別養護老人ホーム セレナ東海
			○		77	サンリスタひいらぎ
			○		78	蘭の館 サービス付き高齢者住宅
			○		79	特定非営利活動法人東海市在宅介護家事援助の会 ふれ愛
			○		80	サービス付き高齢者住宅いこい
			○		81	特別養護老人ホーム 東海福寿園
			○		82	生協のんびり村グループホームほんわか
			○		83	介護老人保健施設サザン東海
			○		84	かぎや
			○		85	特別養護老人ホーム 東海清涼苑
			○		86	ニチイケアセンター東海南
				○	87	保健福祉センター
				○	88	地域包括支援センター
				○	89	地域包括支援センター分室

出典：厚生労働省介護サービス情報公表システム、東海市資料（2021.10.1時点）

II. 現況特性の整理



出典：厚生労働省介護サービス情報公表システム、東海市資料
 図 高齢者介護施設分布

(3) 障害者介護施設

通所施設が多く、市内各所に立地しています。

表 障害者介護施設

分類*				図面 対象 番号	施設名
通所	訪問	入所	センター		
○				1	放課後等デイサービス事業所ほっぷ・すてっぷ東海
○				2	就労継続支援事業所アクエリアス
○				3	就労継続支援事業所アクアキッチン
○				4	就労継続支援事業所のぞみ
○				5	児童発達支援・放課後等デイサービス事業所くまさん
○				6	放課後等デイサービス事業所楽子 名和
○				7	児童発達支援・放課後等デイサービス事業所悠色の道
○				8	児童発達支援・放課後等デイサービス事業所北風と太陽 東海
○				9	生活介護事業所さくら
○				10	就労継続支援事業所さつき
○				11	共同生活援助すまいる
○				12	生活介護事業所 重度障がい者生活介護 FLAPPING
○				13	児童発達支援・放課後等デイサービス事業所重症児ダイNEST
○				14	放課後等デイサービス事業所わかばの杜・東海
○				15	就労継続支援事業所エコラ東海
○				16	児童発達支援・放課後等デイサービス事業所悠色の家
○				17	児童発達支援・放課後等デイサービス事業所S.I.C.KIDS東海校
○				18	放課後等デイサービス事業所フリースマイル東海
○				19	放課後等デイサービス事業所なないろ
○				20	就労継続支援事業所スパイラル東海
○				21	就労継続支援事業所みらいく
○				22	放課後等デイサービス事業所ほっぷ・すてっぷ横須賀
○				23	児童発達支援事業所 ワンハート
○				24	就労継続支援事業所ドリームハウス
○				25	就労継続支援事業所あじさい
○				26	生活介護事業所 あじさい
○				27	就労移行・就労定着支援事業所エール東海
○				28	就労継続支援事業所クリエイティブ東海
○				29	放課後等デイサービス事業所なでしこ
○				30	児童発達支援センター 東海市立あすなる学園
○				31	児童発達支援センター カトレア
○				32	就労継続支援事業所 Maison De Gift Lounge
○				33	放課後等デイサービス事業所まるまるね
	○			34	居宅介護等支援事業所東海市しあわせ村訪問介護事業所

* 各施設の分類

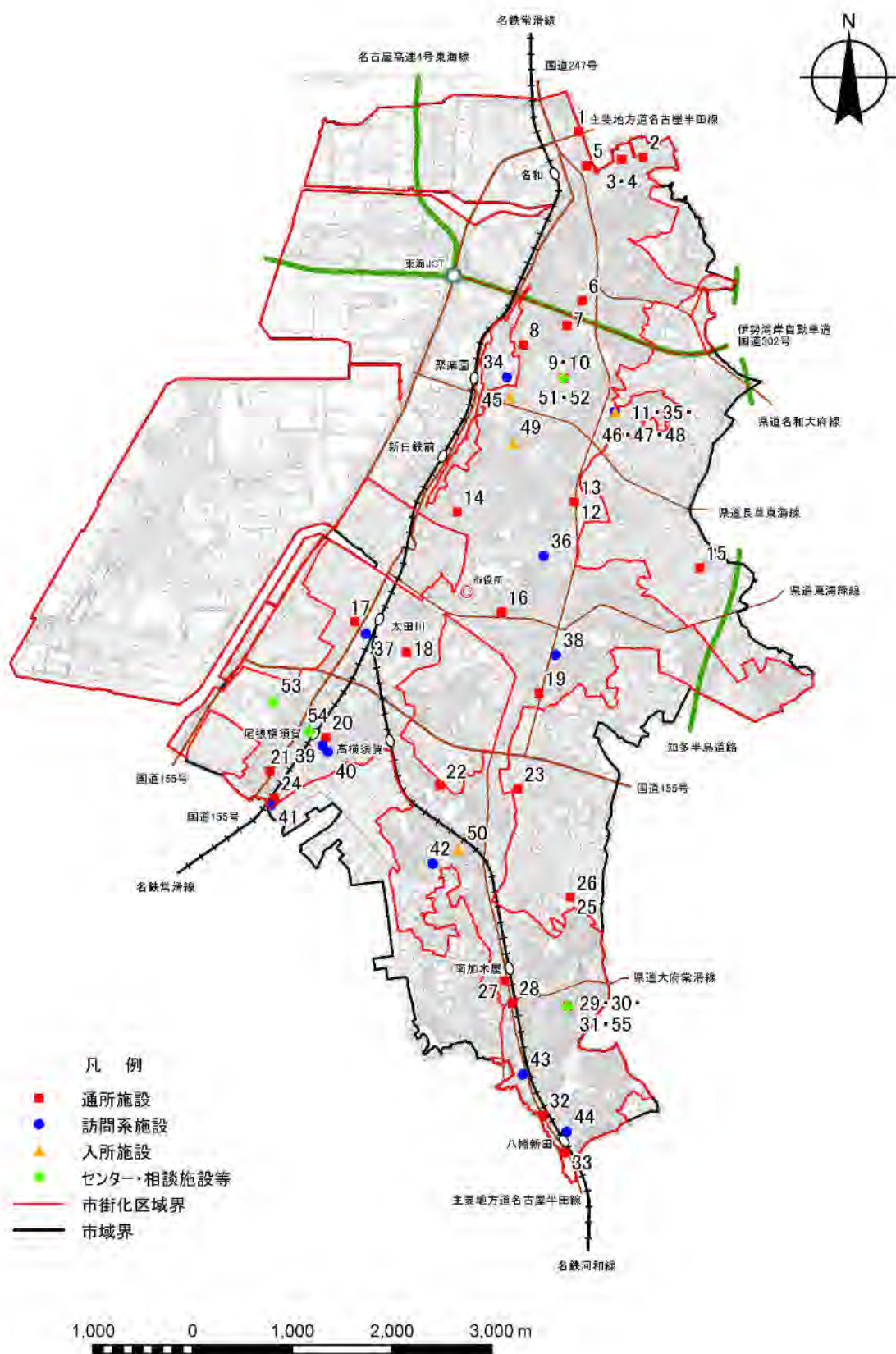
通所：通所施設、訪問：訪問施設、入所：入所施設、センター：障害者総合視線センター等相談施設

Ⅱ. 現況特性の整理

分類*				図面 対象 番号	施設名
通所	訪問	入所	センター		
	○			35	居宅介護等支援事業所さくらんぼ
	○			36	居宅介護等支援事業所ニチイケアセンター東海中央
	○			37	居宅介護等支援事業所ニチイケアセンター東海
	○			38	ヘルパーステーションいずみ
	○			39	居宅介護等支援事業所あさがお
	○			40	居宅介護等支援事業所親愛介護サービス
	○			41	居宅介護等支援事業所東海市在宅介護家事援助の会 ふれ愛
	○			42	居宅介護等支援事業所東海福寿園ヘルパーセンター
	○			43	ヘルパーステーションKOPかぎや
	○			44	居宅介護等支援事業所ニチイケアセンター東海南
		○		45	共同生活援助あしたば
		○		46	短期入所事業所どんぐり
		○		47	共同生活援助コスモス
		○		48	共同生活援助すまいる
		○		49	共同生活援助障がい者グループホーム わかばの里・東海
		○		50	共同生活援助ミックスキャンディ
			○	51	相談支援事業所ひまわり相談支援センター
			○	52	東海市障害者相談支援センター荒尾事業所
			○	53	地域活動支援センターハーモニー
			○	54	東海市障害者相談支援センター横須賀事業所
			○	55	児童発達支援センター 東海市立あすなろ学園

出典：東海市資料（2021.10.1時点）

II. 現況特性の整理



出典：東海市資料（2021.10.1時点）

図 障害者介護施設分布

5. 都市の概況

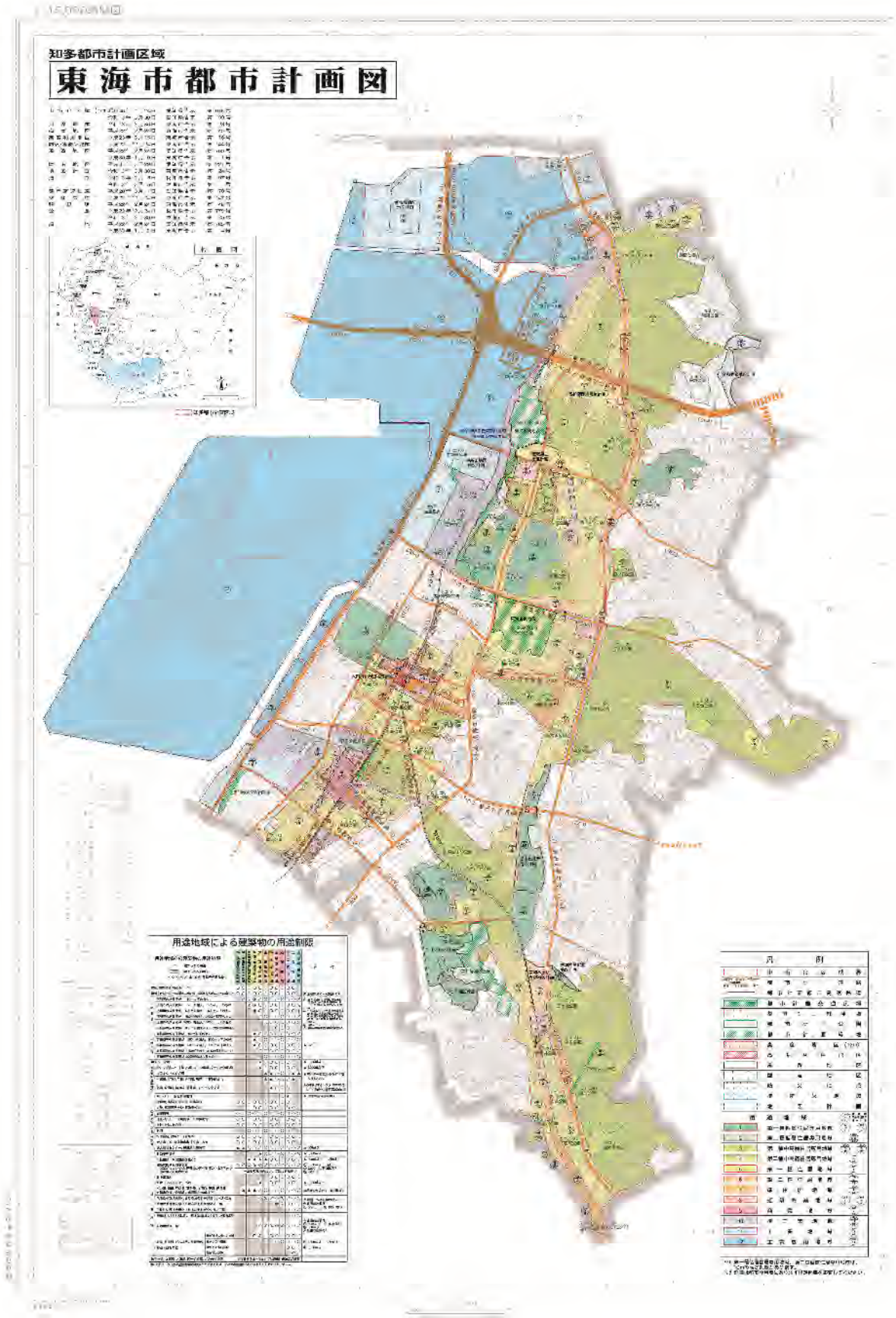
5.1. 用途地域*の指定状況

本市の用途地域の指定状況は、下表のとおりであり、構成比をみると住居系用途地域が32.6%、商業系用途地域が2.3%、工業系用途地域が35.8%となっています。工業系用途地域のうち約8割は工業専用地域となっており、臨海部に工業地帯があります。内陸部の大半は住居系用途地域が指定されており、商業系用途地域は駅周辺や主要な幹線道路沿道等、店舗等の生活利便施設の立地に適した地域が指定されています。

表 用途地域指定面積

区域等		面積(ha)	構成比(%)	構成比(%)
総面積		4,343	100.0	100.0
市街化区域	第1種低層住居専用地域	187	4.3	住居系 32.6
	第2種低層住居専用地域	1.9	0.0	
	第1種中高層住居専用地域	651	15.0	
	第2種中高層住居専用地域	0.6	0.0	
	第1種住居地域	471	10.8	
	第2種住居地域	82	1.9	
	準住居地域	24	0.6	
	近隣商業地域	81	1.9	商業系 2.3
	商業地域	16	0.4	
	準工業地域	92	2.1	工業系 35.8
	工業地域	185	4.3	
	工業専用地域	1,275	29.4	
	計		3,066	71.0
市街化調整区域		1,277	29.0	29.0

出典：東海市資料（2021.3.30告示時点）



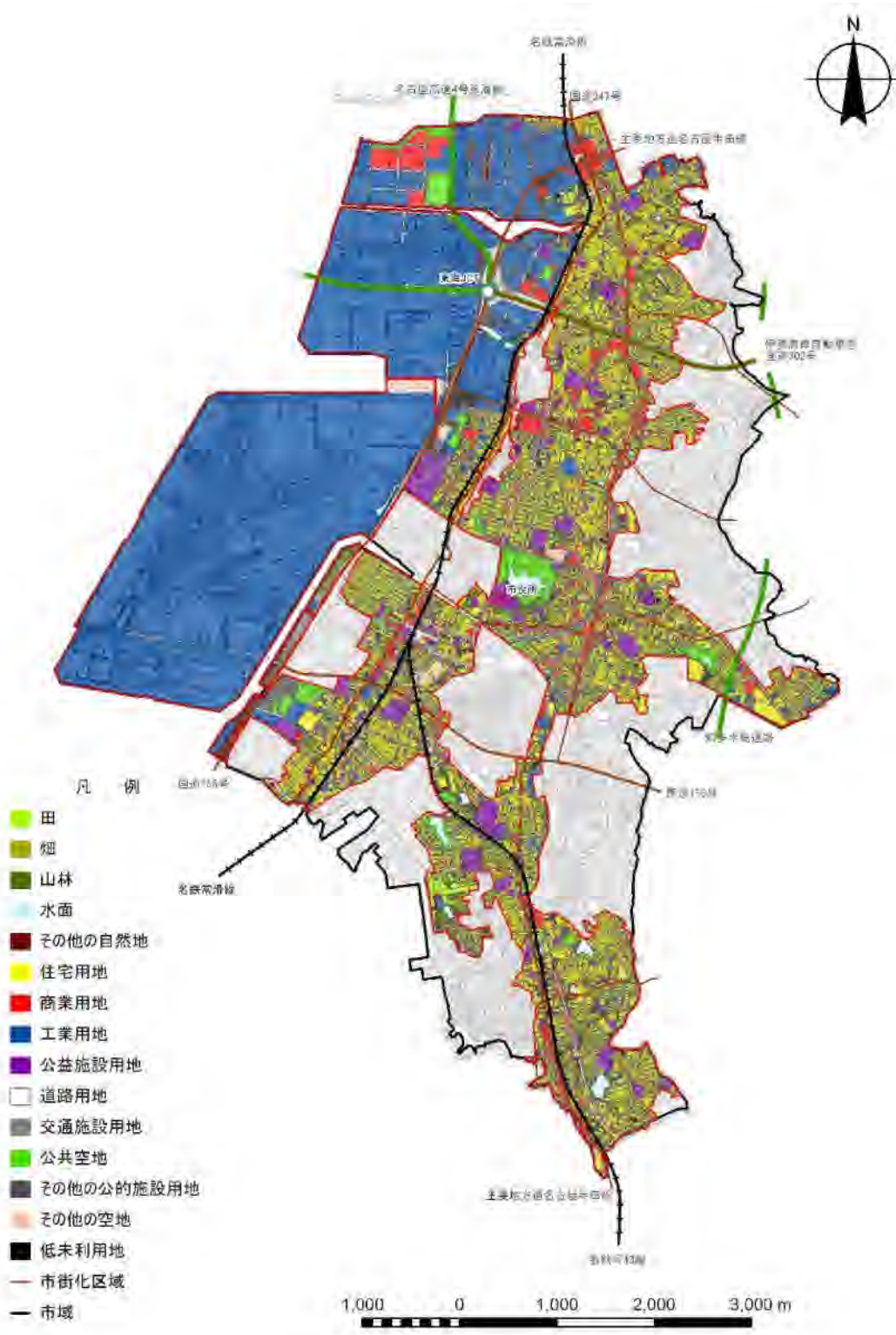
出典：東海市資料（2021. 3. 30 告示時点）

図 用途地域の指定状況

5.2. 土地利用

(1) 土地利用現況

土地利用は、工業用地と住宅用地が多くを占めていますが、商業用地は太田川駅周辺、主要地方道名古屋半田線、国道 247 号等の沿道にみられます。規模の大きな公共空地として、大池公園、上野台公園、元浜公園、中ノ池公園があります。

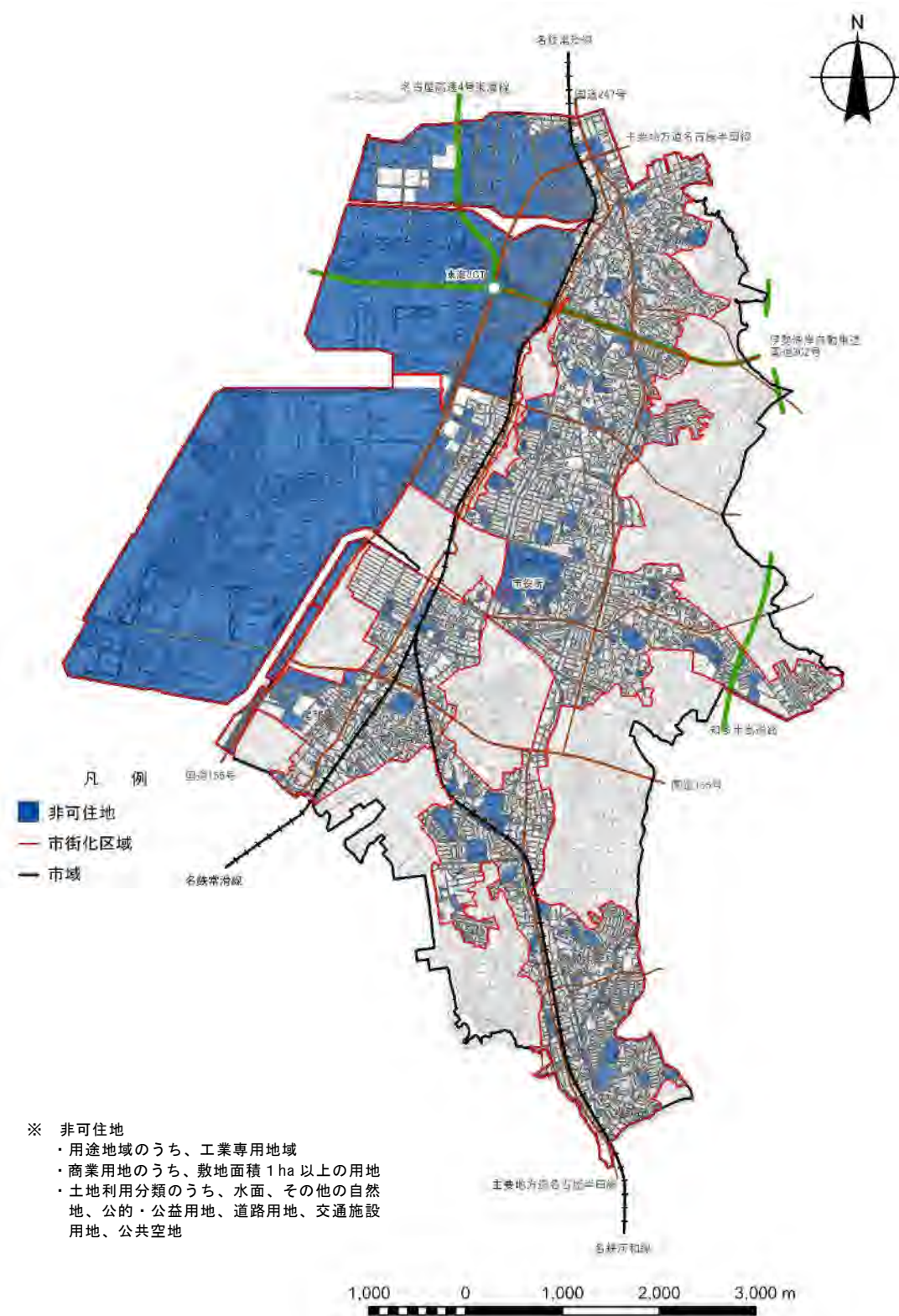


出典：都市計画基礎調査（2018年度）

図 土地利用現況

(2) 非可住地

非可住地は工業専用地域、また、土地利用分類のうち、商業用地（敷地面積 1ha 以上）、水面、その他の自然地、公的・公益用地、道路用地、交通施設用地、公共空地が該当します。本市では、工業専用地域の臨海部に多くみられるほか、内陸部では市内各所に分布しています。



出典：都市計画基礎調査（2018年度）

図 非可住地現況

(3) 空き地（低未利用地）

空き地・低未利用地は、平面駐車場、未利用地（建物跡地等の都市的状況の未利用地）が該当します。本市では、太田川駅周辺に多くみられるほか、市内各所に分布しています。



出典：都市計画基礎調査（2018年度）

図 空き地（低未利用地）現況

5.3. 都市計画道路*の整備状況

本市の都市計画道路は、自動車専用道路が3路線、幹線街路が25路線、区画街路が7路線、特殊街路が2路線あります。供用率をみると、幹線街路で92%、全体で94%の道路網が整備されています。



出典：東海市資料（2021.3時点）

図 都市計画道路の整備状況

Ⅱ. 現況特性の整理

表 都市計画道路の整備状況

路線名称			整備状況等				
			代表車線数 (車線)	幅員 (m)	計画延長 (m)	供用延長 (m)	供用率 (%)
自動車 専用 道路	1・2・1	伊勢湾岸道路	6	31	4,740	4,740	100.0
	1・3・6	西知多道路	6	25.75	5,590	5,590	100.0
	1・4・4	高速3号線	4	19	1,470	1,470	100.0
	計 3路線				11,800	11,800	100.0
幹 線 街 路	3・1・10	名古屋環状2号線	4	40~76	4,410	4,410	100.0
	3・1・63	大津町東海線	6	40	2,060	2,060	100.0
	3・2・24	高針東海線	4	30	1,770	1,770	100.0
	3・3・3	瀬戸大府東海線	4	20~24.25	4,040	4,040	100.0
	3・3・11	名古屋半田線	4	22~25	11,010	10,412	94.6
	3・3・62	横須賀駅前通線	4	25	650	650	100.0
	3・3・310	名和駅前通線	2	22	150	150	100.0
	3・3・312	太田川駅前線	4	25	1,650	1,140	69.1
	3・4・14	荒尾大府線	2	16~25	3,140	3,140	100.0
	3・4・26	知多刈谷線	2	28	50	0	0.0
	3・4・27	東海有松線	4	16~25	4,110	4,110	100.0
	3・4・28	東海知多線	4	18~25	6,320	6,320	100.0
	3・4・38	太田川駅西線	2	16~20	780	0	0.0
	3・4・39	大田中央町線	2	16	910	910	100.0
	3・4・40	大田富木島線	2	16	1,140	1,140	100.0
	3・4・301	大田朝倉線	2	16~18	3,310	3,310	100.0
	3・4・302	養父森岡線	2	16	4,690	3,260	69.5
	3・4・303	名和浅山線	2	18	1,610	980	60.9
	3・4・304	浅山環状線	2	16	1,100	1,100	100.0
	3・4・305	浅山北線	2	16	220	220	100.0
	3・4・306	浅山南線	2	16	160	160	100.0
	3・4・307	太田川駅北線	2	16~20	1,000	1,000	100.0
	3・4・308	太田川駅東線	2	16~20	790	790	100.0
	3・4・309	太田川駅南線	2	16	1,290	962	74.6
	3・4・311	横須賀駅西通線	2	20	310	0	0.0
計 25路線				56,670	52,034	91.8	
区 画 街 路	7・7・301	常滑線側道1号線	—	6~10	690	690	100.0
	7・7・302	常滑線側道2号線	—	6	740	740	100.0
	7・6・303	常滑線側道3号線	—	6~10	620	620	100.0
	7・7・304	常滑線側道4号線	—	6	630	630	100.0
	7・7・305	河和線側道1号線	—	6	480	480	100.0
	7・7・306	常滑線側道5号線	—	6	300	300	100.0
	7・7・307	常滑線側道6号線	—	6	310	310	100.0
	計 7路線				3,770	3,770	100.0
特 殊 街 路	8・5・301	太田川駅西歩道	—	15~30	310	310	100.0
	8・5・302	太田川駅東歩道	—	15~50	620	620	100.0
	計 2路線				930	930	100.0
合計 37路線					73,170	68,534	93.7

※「暫定供用済*」も、供用延長に含めています。

出典：東海市資料（2021.3時点）

5.4. 土地利用に伴う法規制

土地利用に伴う法規制としては、非可住地である工業専用地域、地区計画区域*の住宅除外地区のほか、生産緑地地区*、風致地区、保安林*等があります。



出典：東海市資料

図 土地利用に伴う法規制

5.5. 災害の危険箇所

(1) 洪水

本市の都市拠点である太田川駅周辺や、低層住宅を誘導する地区計画が設定されている加木屋北部地区、土地区画整理事業を実施した富木島地区、渡内地区等、人口密度や生活利便性が確保された地域で浸水が想定されます。



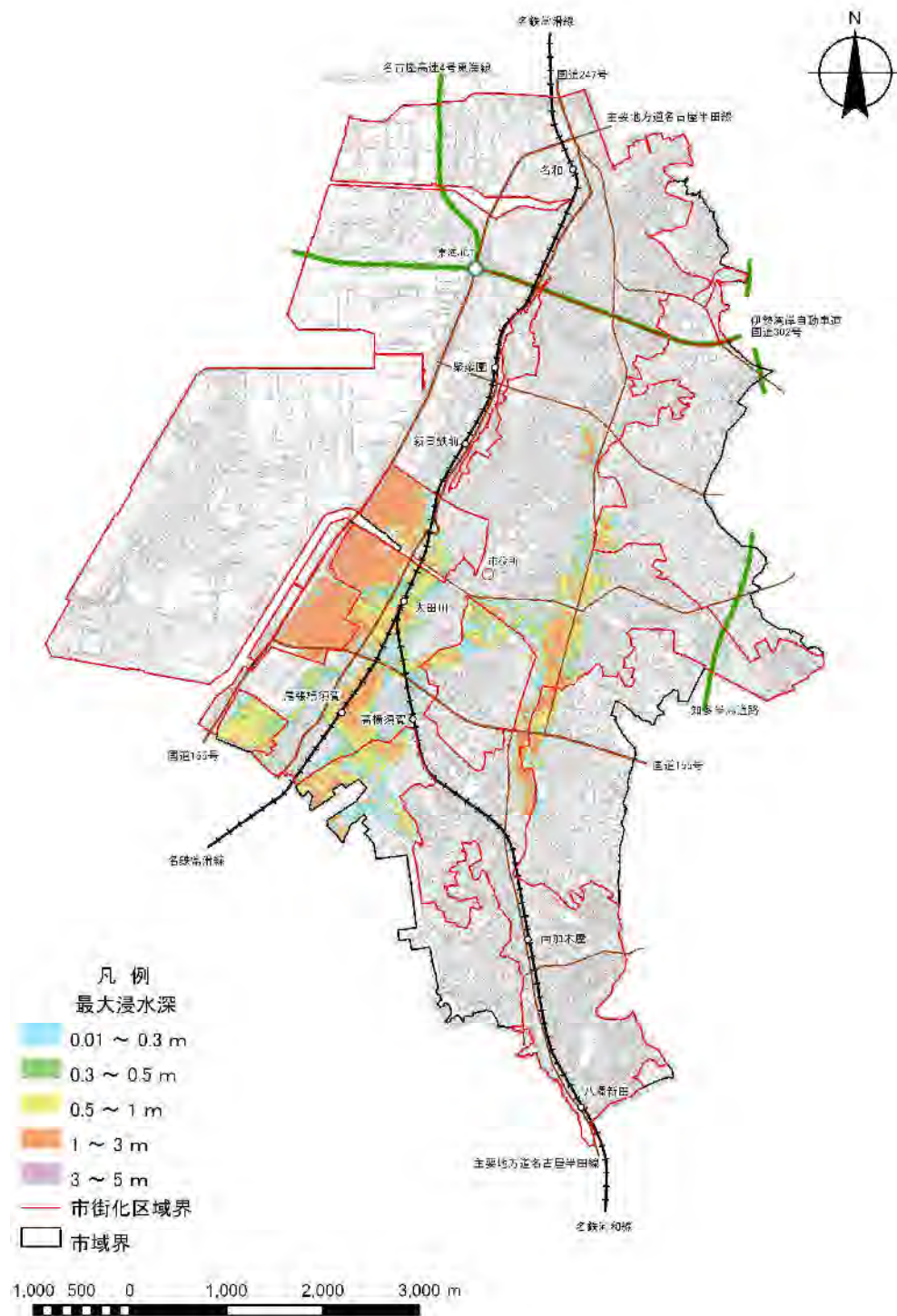
※この図は、愛知県から公表されている「二級河川天白川水系扇川の洪水浸水想定区域*」、「二級河川大田川水系大田川流域の浸水予想区域*」及び「二級河川信濃川水系信濃川流域の浸水予想区域」を重ね合わせた図面です。準用河川や普通河川の洪水は表示していません。

出典：愛知県（2021. 3. 26 時点）

図 計画規模の降雨による洪水の浸水深

II. 現況特性の整理

また、想定最大規模の洪水により、計画規模での浸水想定区域に加え、地区拠点である尾張横須賀駅周辺や、富木島土地地区画整理事業区域など、広い範囲での浸水が想定されます。



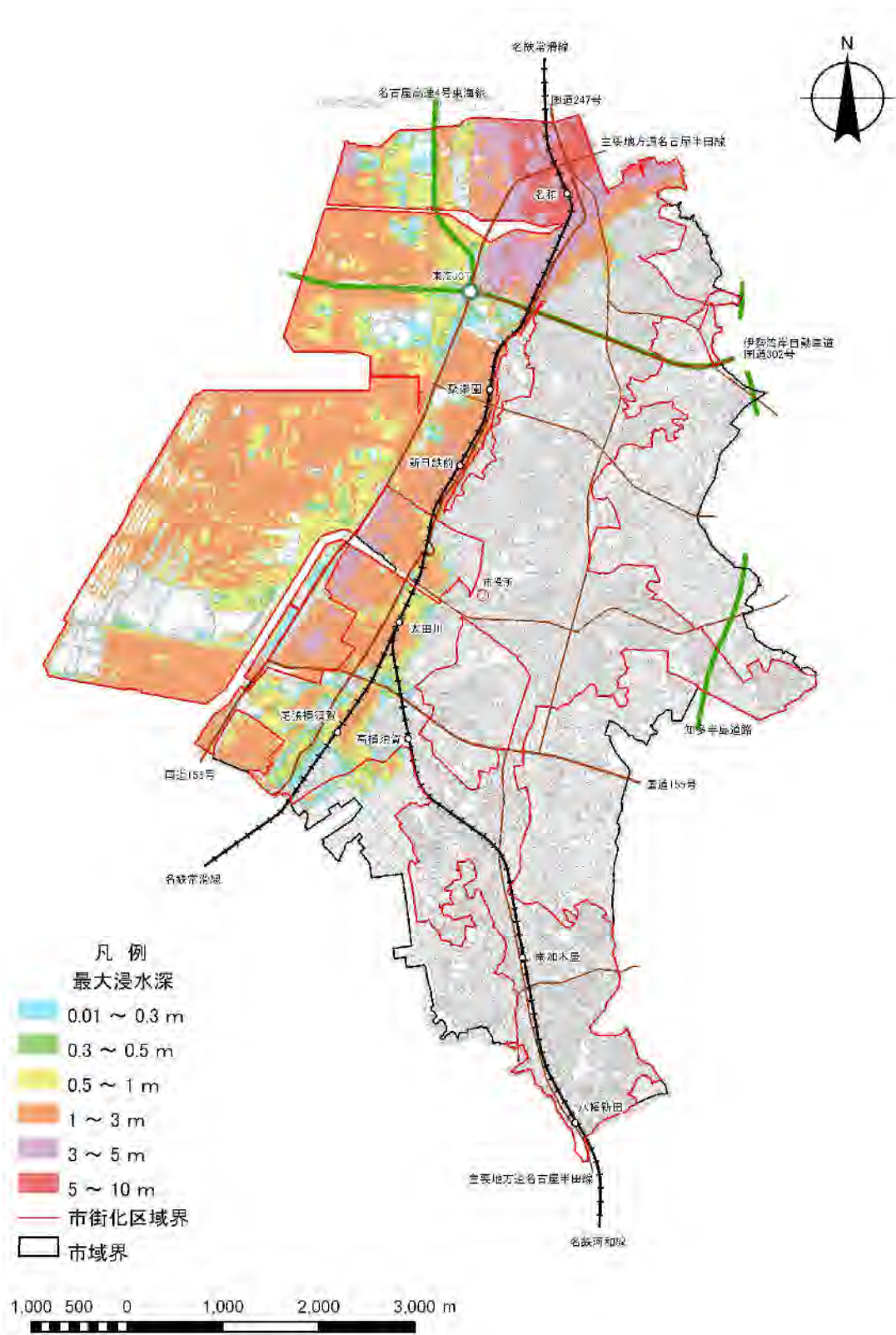
※この図は、愛知県から公表されている「二級河川天白川水系扇川の洪水浸水想定区域」、「二級河川大田川水系大田川流域の浸水予想区域」及び「二級河川信濃川水系信濃川流域の浸水予想区域」を重ね合わせた図面です。準用河川や普通河川の洪水は表示していません。

出典：愛知県（2021. 3. 26 時点）

図 想定最大規模の降雨による洪水の浸水深

(2) 高潮

高潮による危険性について、高潮浸水想定区域は、名鉄常滑線以西及び名和駅、尾張横須賀駅周辺等にみられます。

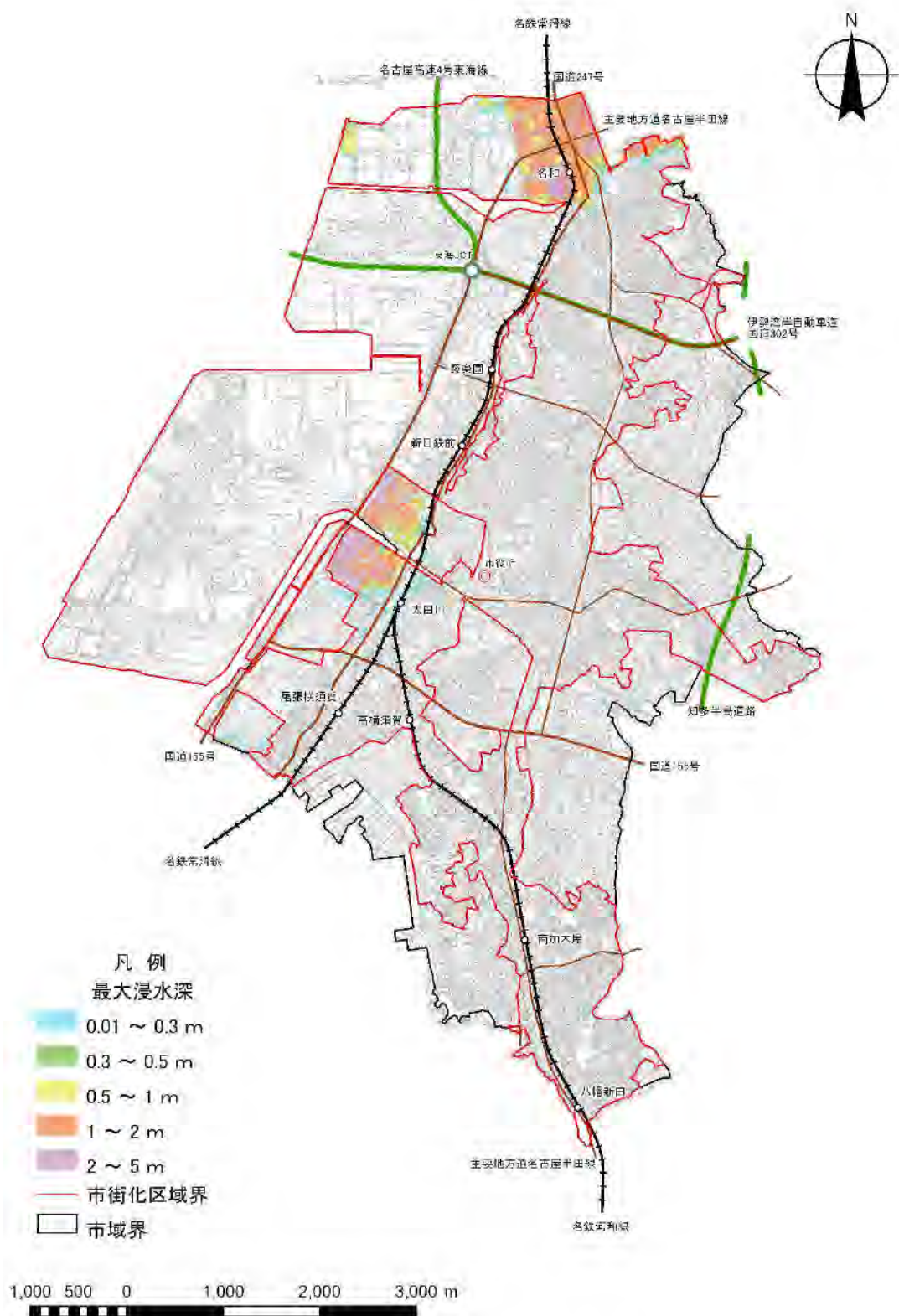


出典：愛知県（2021.6.11時点）

図 想定最大規模の高潮による浸水深（室戸台風規模、堤防決壊）

(3) 津波

津波による危険性について、津波災害警戒区域*は、名和駅周辺、太田川駅西側等に指定されています。



出典：愛知県（2019. 7. 30 時点）

図 津波災害警戒区域の浸水深

(4) 土砂災害

土砂災害特別警戒区域*、土砂災害警戒区域*、急傾斜地崩壊危険区域*が、市内の丘陵部等に分布しています。



出典：愛知県（2020.6.29時点）

図 土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域

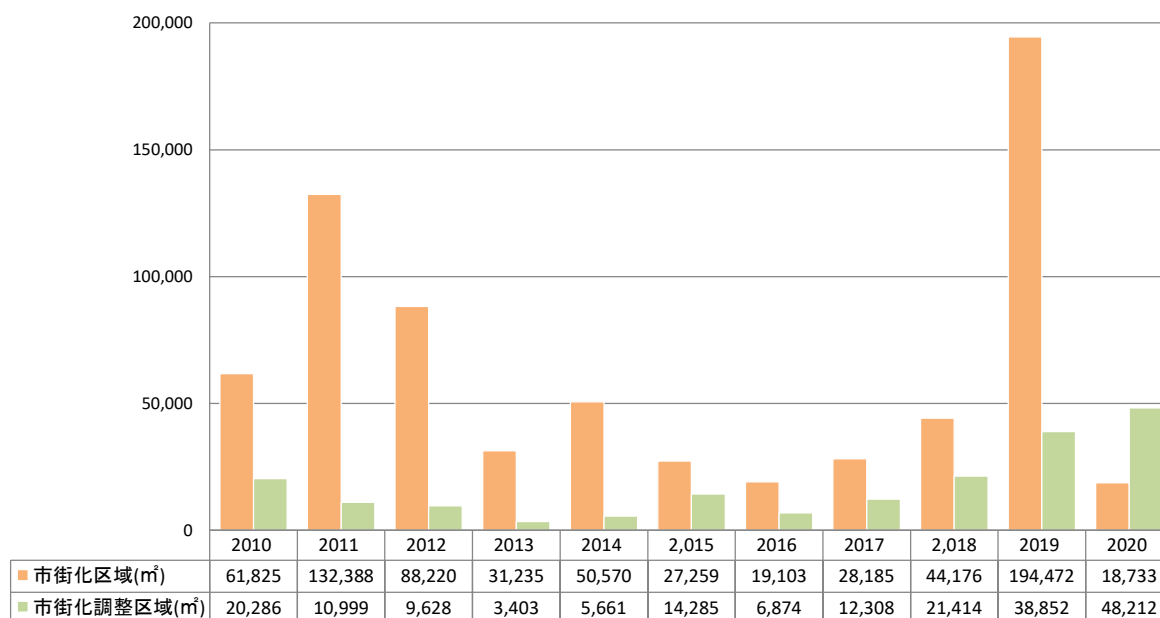


出典：愛知県（1996.2.5時点）

図 急傾斜地崩壊危険区域

5.6. 開発許可の状況

本市の開発許可の面積推移をみると、市街化区域では、近年は減少していましたが、2019年に加木屋町社山北地区における宅地整備等により、開発許可面積が大きくなっています。市街化調整区域では、近年の5年間では増加傾向にあります。



出典：東海市資料（各年 3.31 時点）

図 開発許可の状況

5.7. 財政の状況

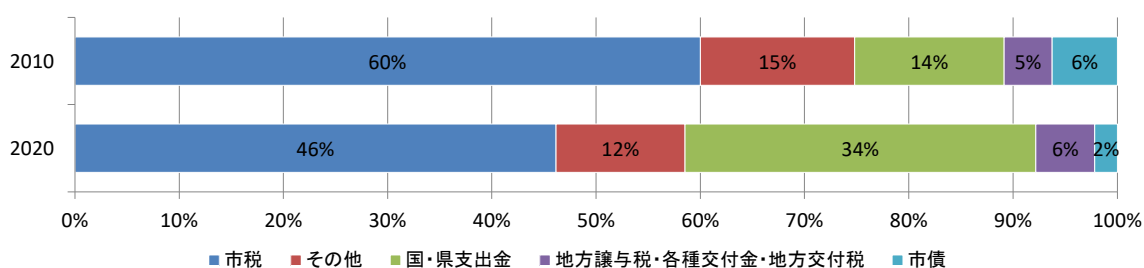
一般会計歳入決算額*について、2010年から2020年までの増減比をみると、総額は1.41倍で推移しています。内訳は、国・県支出金*や地方譲与税・各種交付金・地方交付税*の伸びが大きくなっていますが、金額は市税が最も多くなっています。

表 一般会計歳入決算額の状況

分類/年度	2010	2020	増減比
市税	26,997	29,264	1.08
その他	6,674	7,836	1.17
国・県支出金	6,448	21,337	3.31
地方譲与税・各種交付金・地方交付税	2,070	3,582	1.73
市債	2,816	1,365	0.48
総額	45,005	63,383	1.41

(単位：百万円)

※その他：分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金、諸収入



出典：東海市資料

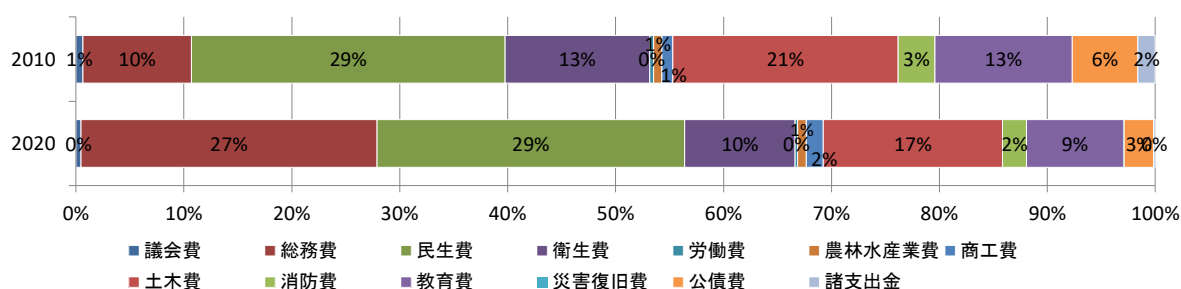
図 一般会計歳入決算額の状況

一般会計歳出決算額について、2010年から2020年までの増減比をみると、総額は1.37倍で推移しています。内訳は、災害復旧費のほか総務費、民生費、商工費の伸びが大きくなっており、金額は民生費が最も多くなっています。

表 一般会計歳出決算額の状況

費目/年度	2010	2020	増減比	費目/年度	2010	2020	増減比
議会費	284	287	1.01	土木費	9,036	9,864	1.09
総務費	4,356	16,287	3.74	消防費	1,488	1,312	0.88
民生費	12,598	16,944	1.35	教育費	5,509	5,340	0.97
衛生費	5,813	6,081	1.05	災害復旧費	1	40	39.87
労働費	160	133	0.83	公債費	2,638	1,618	0.61
農林水産業費	326	471	1.44	諸支出金	700	97	0.14
商工費	448	943	2.11	総額	43,357	59,417	1.37

(単位：百万円)



出典：東海市資料

図 一般会計歳出決算額の状況

周辺市町と主な財政指標を比較したものが下表です。本市の財政力指数は、1.29 であり、周辺市町を上回っています。将来負担比率は、10.4 であり、将来にわたって比較的健全で安定した財政であるといえます。

表 主な財政指標の周辺市町との比較

自治体／指数等	財政力指数*	経常収支比率*	将来負担比率*
東海市	1.29	82.7	10.4
愛知県	0.91	100.0	185.6
名古屋市	0.99	99.7	104.4
大府市	1.14	81.9	-
知多市	0.97	91.5	21.6
東浦町	0.90	89.2	-

出典：地方公共団体の主要財政指標一覧（2020 年度、総務省）

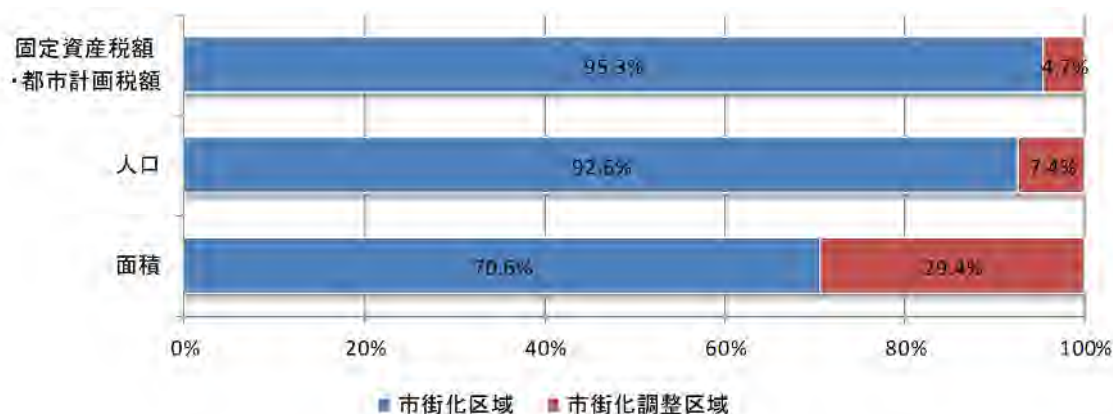
5.8. 税の状況

固定資産税額・都市計画税額の内訳をみると、面積で市の 70.6% を占める市街化区域において、固定資産税額・都市計画税額の占める割合は 95.3% となっています。

表 税（固定資産税、都市計画税）の状況

区 域	面 積 (ha)	人 口 (人)	都市計画税額 (千円)	固定資産税額 (千円)	計(千円)
市域	4,343	114,615	1,290,000	5,270,000	6,560,000

出典：東海市資料（人口・面積：2021.4.1、税額：2021 年度予算時点）



出典：東海市資料（人口・面積：2021.4.1、税額：2021.1.1 時点）

図 税（固定資産税、都市計画税）の状況

5.9. 地価の状況

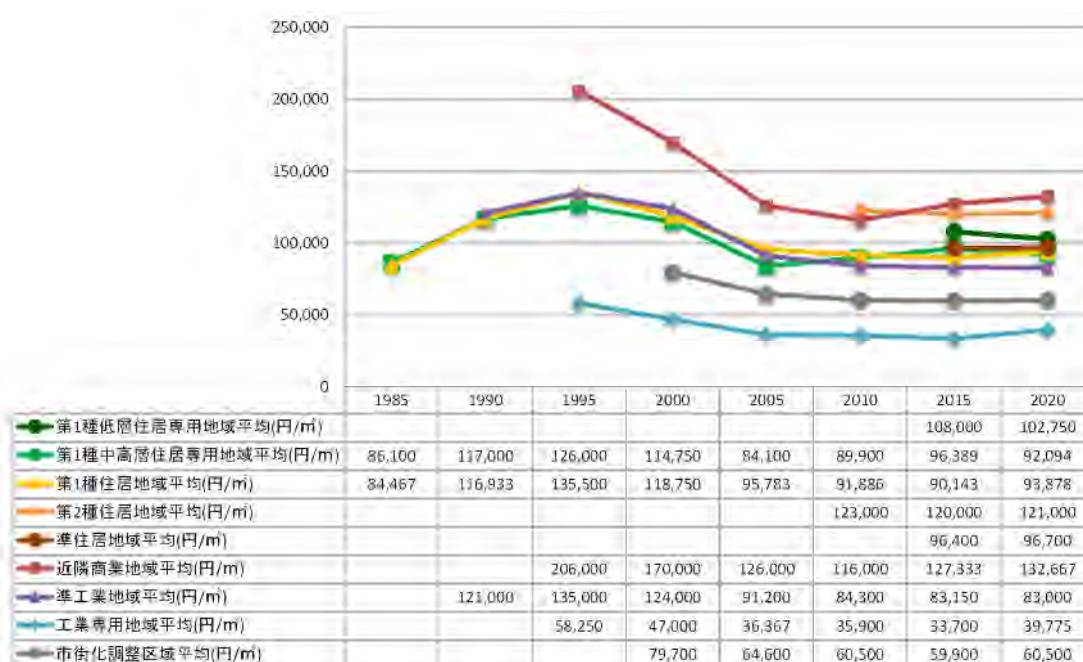
地価公示*によると、太田川駅周辺では、2005年ごろから低下から上昇へ転じています。その他の駅では、変動が比較的少ない2010年以降でみると、新日鉄前駅周辺、八幡新田駅周辺で若干上昇しています。



出典：地価公示

図 地価公示価格の推移（駅周辺別）

用途地域別の平均価格は下図のとおりであり、2010年以降でみると、近隣商業地域は上昇していますが、他の用途地域は概ね横ばいとなっています。

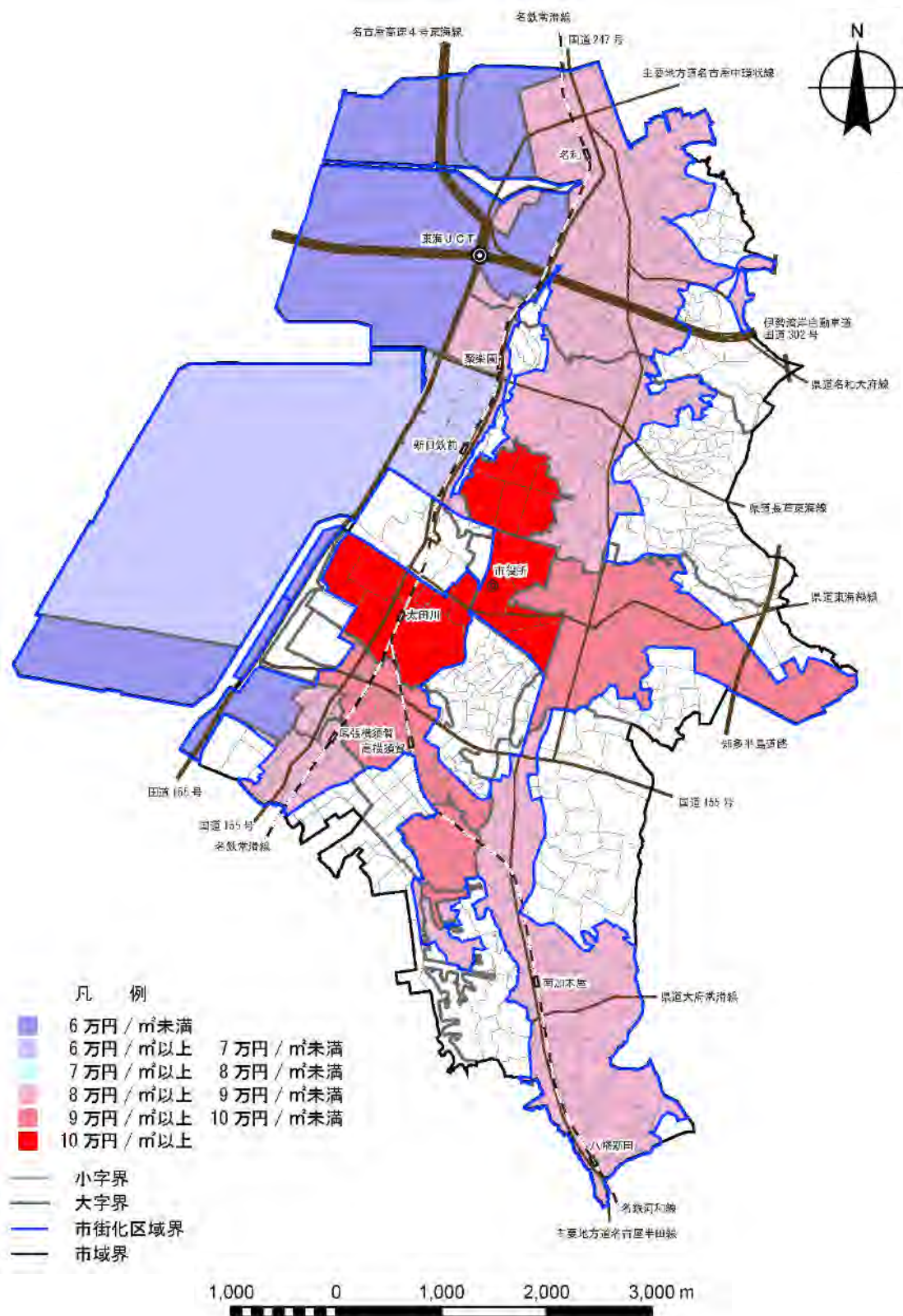


出典：地価公示

図 地価公示価格の推移（用途地域別）

II. 現況特性の整理

市街化区域について、大字別に地価分布をみると、太田川駅や市役所周辺で高くなっています。



出典：東海市資料（2021）

図 地価の分布

6. 上位関連計画の把握

6.1. 県の計画

(1) 知多都市計画区域の整備、開発及び保全の方針（知多都市計画区域マスタープラン）

策定年	○2019年3月
目標年	○2030年度
位置付け	○都市計画法第6条の2の規定に基づき、愛知県が広域的な見地から、長期的な視点に立った都市の将来像を明確にするとともにその実現に向けた大きな道筋を明らかにしたもの。
基本理念	○広域交流拠点や地域特性を活かした特色ある産業が充実し、魅力ある暮らしを支える都市づくり
東海市にかかわる主要な内容	○太田川駅周辺（都市拠点として都市機能が立地する中心商業地の配置促進、計画的な市街地整備） ○市街地開発事業（土地区画整理事業）＝東海太田川駅周辺、（仮称）東海加木屋中部、（仮称）東海大田インター周辺、東海富木島石根 ○交通施設＝瀬戸大府東海線（主要地方道瀬戸大府東海線） ○公園緑地＝緑陽公園



図 将来都市構造

6.2. 本市の計画

(1) 第6次東海市総合計画 後期計画

策定年	○2019年3月
対象期間	○2019年度から2023年度
位置付け	○まちづくり基本条例に基づき策定する本市の長期的なまちづくりの指針となる計画であり、基本構想、基本計画及び実施計画から構成する。 ○基本構想は、まちづくりの目標となる都市の将来像や市民が望むまちの姿等、本市が目指すまちづくりの基本的な方向性を明らかにしたもの。
将来都市像	「ひと 夢 つなぐ 安心未来都市」
将来人口	○計画人口：116,000人(2023年度)
土地利用	○土地利用ゾーニング：南北の帯状に形成されているゾーン特性を踏まえ、西から【産業ゾーン】－【緩衝ゾーン】－【居住ゾーン】－【農業緑地ゾーン】と区分する。 ○住居系土地利用では、防災・減災に十分配慮しつつ、都市基盤の整備・更新を進めるとともに、鉄道駅周辺地域や地域の中心部において生活拠点地区の整備を図るなど集約型まちづくりに努める。 ○太田川周辺では、さまざまな都市機能を生かした中心市街地にふさわしい土地利用を進める。主要駅周辺では、日常生活に必要な施設の充実を図るとともに、市民生活を支える商業地の形成を進める。

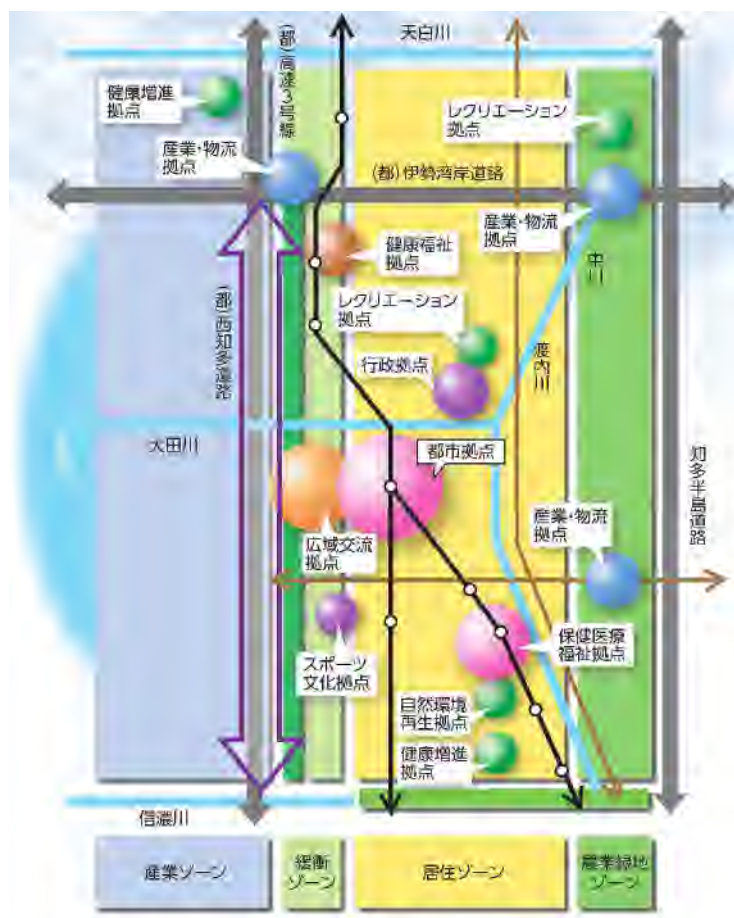


図 将来都市構造（目標年次2023年度）

(2) 東海市地域強靱化計画

策定年	○2021年3月
位置付け	○本計画は、基本法第13条に基づく国土強靱化地域計画として策定するものであり、「第6次東海市総合計画」との整合・調和を図るとともに、「東海市地域防災計画」をはじめとする様々な分野別計画の指針となるもの。 ○令和5年度（2023年度）までの期間に取り組むべき施策の方向性を示し、「第6次東海市総合計画」の効果を最大限に発揮させることができるよう留意する。
基本目標	○市民の生命を最大限守る ○地域及び社会の重要な機能が致命的な障害を受けず維持されること ○市民の財産及び公共施設に係る被害の最小化 ○迅速な復旧復興
強靱化を進める上での留意事項	○強靱性を損なう本質的原因をあらゆる側面から検証 ○短期的な視点によらず、長期的な視野を持って取り組む ○ソフト対策とハード対策を効果的に組み合わせ、総合的に取り組む ○女性、高齢者、子ども、障害者、外国人等に配慮する
土地利用	○直接死を最大限防ぐ ○救助・救急、医療活動等が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保する ○必要不可欠な行政機能を確保する ○必要不可欠な情報通信機能・情報サービスを確保する ○経済活動を機能不全に陥らせない ○ライフライン、燃料供給関連施設、交通ネットワーク等の被害を最小限に留めるとともに、早期に復旧させる ○制御不能な複合災害・二次災害を発生させない ○社会・経済が迅速かつ従前より強靱な姿で復興できる条件を整備する

(3) 東海市都市計画マスタープラン

策定年	○2019年3月
目標年	○2023年度
対象期間	○2011年度から2023年度
位置付け	○都市計画法第18条の2の市町村の都市計画に関する基本的な方針を示したもの。
都市づくりの理念	○ひと 夢 つなぐ 安心未来都市づくり
都市づくりの目標	<ul style="list-style-type: none"> ○安心・安全で、心地よく暮らせる都市づくり ○自家用車に過度に頼らないで暮らせる都市づくり ○市民の健康で元気な暮らしを支える都市づくり ○人と人、人とまちの交流を深める文化の香る都市づくり ○活力を生み、持続的な発展を支える都市づくり

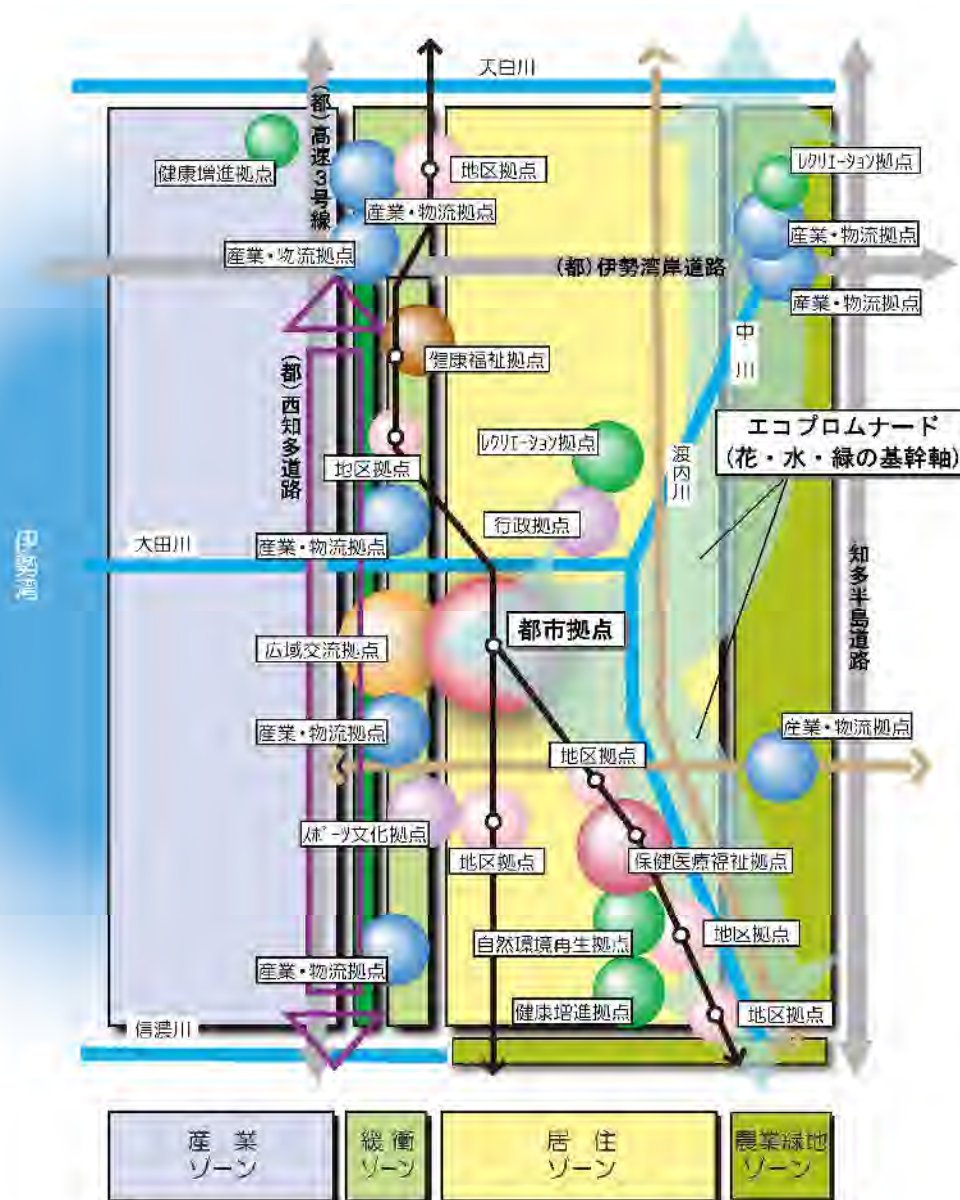


図 本市の将来像（概念）

Ⅱ. 現況特性の整理

将来人口	<p>○目標年次 2023 年度 全市人口：116,000 人、市街化区域人口：106,500 人</p> <p>○ピーク時 2045 年度 全市人口：118,000 人、市街化区域人口：109,100 人</p>	
土地利用の方向性等	<p>○市街化区域における増加人口のうち、市街化区域の未利用地に収容可能な人口を差し引くと、2023 年までに約 670 人、2045 年までに約 2,700 人が収容不可能な人口となり、収容不可能な人口を収容するため、2023 年までに約 11ha、2045 年までに約 47ha の市街化区域の拡大が必要。</p> <p>○産業系（商業系・工業系）市街地は、2023 年までに約 130ha の拡大を想定。</p>	
拠点・軸の配置	都市拠点	<p><u>太田川駅周辺</u></p> <p>○多世代が暮らすことのできるまちづくりを展開するとともに、商業、文化、教育、医療、福祉などのさまざまな都市機能の集積・複合化により本市の中心として、にぎわいのある拠点の形成を図る。</p> <p>○交通機関相互の乗り継ぎ利便性を高め、公共交通結節点としての機能強化を図る。</p>
	保健医療福祉拠点	<p><u>公立西知多総合病院や隣接する老人福祉施設、新駅などの周辺</u></p> <p>○既存の医療・福祉機能に加えて、日常生活を支える商業施設などの生活サービス施設の誘導、公共交通の機能強化などにより、「医職住」が整った市街地の整備に向けた拠点の形成を図る。</p>
	広域交流拠点	<p><u>(都)大田朝倉線の西側の後浜川南地区及び天宝地区</u></p> <p>○太田川駅及び(都)西知多道路 IC 周辺という広域交通体系の利便性を生かしつつ、隣接する都市拠点との連携・役割分担のもとでオフィスや商業、観光交流、教育、ものづくり、宿泊などの多様な施設を誘導し、広域的な交流を促進する新たな拠点の形成を図る。</p>
	健康福祉拠点	<p><u>聚楽園駅及び聚楽園公園（しあわせ村）の一带</u></p> <p>○公共交通の利便性を生かした生活サービス施設の充実を図るとともに、文化、スポーツ、レクリエーション、福祉などの多様な機能を有する拠点として現有機能の維持・強化を図る。</p>
	地区拠点	<p><u>鉄道駅周辺</u></p> <p>○高齢者をはじめ、だれもが快適に移動できる交通環境の整備を図る。</p> <p>○公共交通の利便性を生かした居住の誘導や商業をはじめとする生活サービス施設の充実により、地域生活の拠点として利便性を高める。</p>
	地域生活拠点・地域生活軸	<p><u>商業などの生活サービス施設が集積する地区や幹線道路の沿道</u></p> <p>○地区拠点を補完する拠点として、地域住民の日常生活を支える機能の維持・集積を図る。</p>
	行政拠点	<p><u>大池公園南側の市役所や商工センターの周辺地区</u></p> <p>○行政サービスや地域情報の発信地として、現有機能の維持・強化を図る。</p>

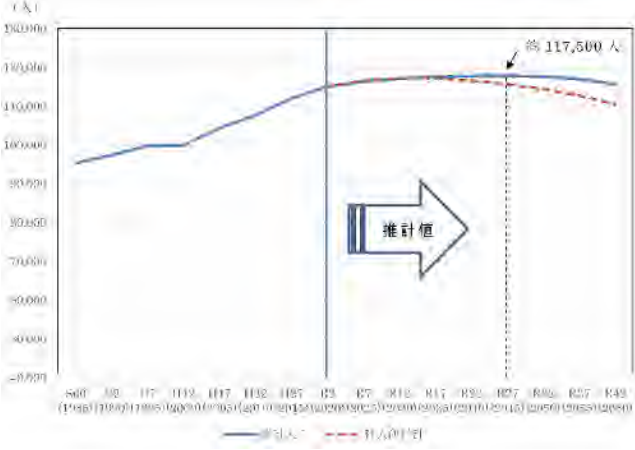
II. 現況特性の整理

拠点・軸 の配置	スポーツ 文化拠点	<p><u>市民体育館や文化センターなどのスポーツ・文化活動を支援する機能のほか、社寺や山車など多くの歴史文化資源が集積する元浜公園周辺</u></p> <p>○人と人、人と地域の交流・ふれあいを促進するため、個性と魅力にあふれ、歴史文化の香るまちづくりを展開し、現有機能の維持・強化を図る。</p>
	産業・物 流拠点	<p><u>(都)伊勢湾岸道路東海 IC 周辺、(都)伊勢湾岸道路大府 IC 及び(都)高速 2 号線大高 IC 周辺、(都)知多半島道路大府東海 IC 周辺、(都)西知多道路 IC 周辺</u></p> <p>○広域交通体系の利便性を生かした現有機能の維持・強化を図る。 ○本市の都市活力を維持・創出するため、新たな産業機能の誘導を図る。</p>
	レクリエ ーション 拠点	<p><u>緑陽公園、大池公園周辺</u></p> <p>○市民や市外の人たちが里山などの豊かな自然を体感し、自然とふれあうようなレクリエーション活動や憩いの場として、現有機能の維持・強化による利用増進を図る ○大池公園では、災害時における避難所や防災上の拠点機能を担う場としての機能向上を図る。</p>
	自然環境 再生拠点	<p><u>加木屋緑地</u></p> <p>○加木屋緑地周辺には、ため池や農地、山林などの自然が残り、また、多様な植物や昆虫が生息しており、市民が身近な自然とふれあうことのできる場として保全・活用を図る。</p>
	健康増進 拠点	<p><u>加木屋運動公園周辺</u></p> <p>○比較的まとまった自然環境が残るなかで、野球場やテニスコートなどの運動施設が整備されており、自然環境のなかで健康増進を目的とした運動を楽しむことができる場として、現有機能の維持・強化を図る。</p> <p><u>新宝緑地運動公園 (2021. 3. 31 廃止) 周辺</u></p> <p>○市民や市外の人たちのレクリエーション活動やスポーツ活動の場、憩いの場として、多目的グラウンドなど現有機能の維持を図る。</p>

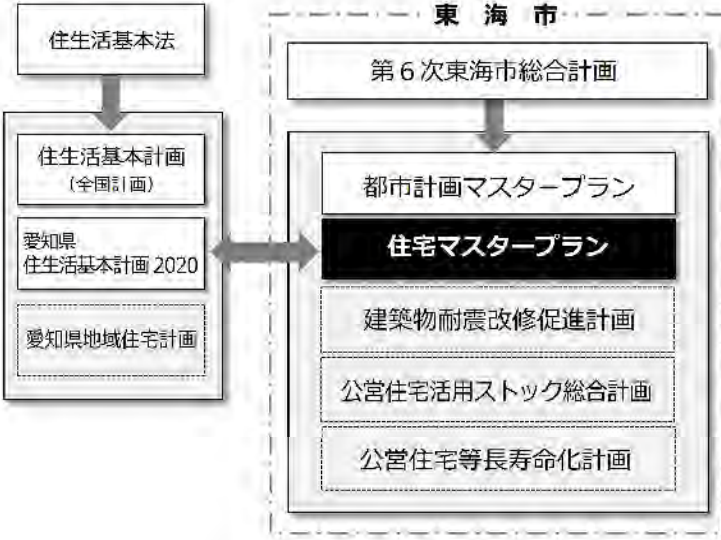


図 将来都市構造図

(4) 第2期東海市総合戦略


策定年	○2020年3月
位置付け	<p>○総合戦略は、中長期的な将来を見据え、我が国における喫緊の課題である人口減少や地域経済の縮小といった課題への的確に対応し、地方創生を推進していくための羅針盤となるもの。</p> <p>○本市の人口ビジョンで掲げる人口の将来展望を踏まえたうえで、第6次総合計画後期計画や各種の個別計画との整合性を図りながら、分野横断的に重点的に取り組む「戦略的なビジョン」として、今後の取り組みを整理したもの。</p>
人口ビジョン	<p>○令和42年(2060年)において現在と同じ水準の人口を確保する。</p> 
基本目標	<p>(1) リニアインパクトを見据えた地域活性化・にぎわい創出 リニア中央新幹線の開通を見据え、まちのさらなる活性化を進めるとともに、次世代の成長分野をはじめ、魅力ある産業を創出・育成する。</p> <p>(2) 人づくり(人材育成) 夢や希望を育む環境の整備による将来を担う若い世代を中心とした人材の育成と、地域社会の活性化に向けた人材を確保する。</p> <p>(3) 子育て支援・女性の活躍支援 若い世代の働き方・結婚・子育ての希望を実現する。</p> <p>(4) 健康づくり・生きがいづくり 自分の健康状態を知り、自ら健康づくりを実践する人を増やすとともに、地域や人との関わりあいを通じて生きがいがあり健康なまちを実現し、健康寿命*日本一にする</p>

(5) 第2次東海市住宅マスタープラン

策定年	○2016年3月
対象期間	○2016年度から2025年度
位置付け	<p>○「第6次東海市総合計画」を上位計画とした、住宅政策部門の基本計画となるもの。</p> <p>○国、愛知県の計画との関係は下図のとおりである。</p>  <p style="text-align: center;">図 計画の位置付け</p>
基本理念	「住み続けたいくなる 安心未来住まいづくり」
目標と施策の展開方針	<p>①住み続けたいくなる住まい・まちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市街化区域の土地の有効活用により、良質な宅地供給と公共空間の整備を推進し、若年層でも持家が早期に取得しやすい環境をつくる ・大都市圏の近接性という好条件を生かし、駅を中心とした市街地整備と公共施設整備を進めることで、良好な都市景観の形成とまちなか居住の魅力づくりにつなげる ・環境配慮型住宅の整備促進 <p>②ひとにやさしい住まい・まちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市営住宅の的確なストックマネジメントの推進 ・高齢者・障害者・ひとり親世帯等向け住宅の環境整備 <p>③次世代につなぐ住まい・まちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住まいとまちの安全性の向上 ・長く住み続けられる住まいづくりの提案 ・中古住宅流通等による空家対策の推進

<p>重点施策</p>	<p>①鉄道駅を中心とした市街地開発事業等の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市では、鉄道駅を中心とした市街地開発事業等を推進することにより、コンパクトシティを意識した、だれもが移動しやすいまちなかとして住宅・住環境を創出し、本市への定住を図ります。 ・まず、「第6次東海市総合計画」や「東海市都市計画マスタープラン」等において、本市の都市拠点と位置付けられ、市街地開発事業等を推進してきた太田川駅周辺地区においては、公共施設の整備も進んでいます。今後も引き続き、都市基盤整備を行い、都市型住宅の供給が図られるよう進めます。 ・また、南加木屋駅をはじめとする既存駅周辺においても、道路等の公共施設整備を推進し、魅力的な住環境の形成に努めます。 ・さらに、本市が名古屋鉄道と高横須賀駅～南加木屋駅間における新駅設置について合意したことを契機として、その周辺地区の都市基盤整備及び住宅市街地の形成を目指します。 <p>②市営住宅（下大脇・小池・明倫）の移設等の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建替えに当たっては、入居者のニーズと市民理解とのバランスを取りながら、現在地にかかわらず敷地を選定し、早期着手を目指します。特に、入居者の高齢化に伴い、「歩いて暮らせるまちづくり」を実現するためには、一定の利便性のある敷地を選定します。 <p>③空家の市場流通・活用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後増加すると想定される空家に対し、空家のまま放置されることを未然に防いでいくため、中古住宅流通の活発化を軸に対策を図ります。
-------------	---

(6) 東海市総合交通戦略

策定年	○2021年3月
位置付け	○第6次東海市総合計画に掲げる将来都市像である「ひと 夢 つなぐ 安心 未来都市」を目指し、東海市都市計画マスタープランにおけるまちづくり方針に基づく、本市の交通部門における計画となるもの。
目的	○人口減少・高齢社会に対応した持続可能な交通環境を実現するために、公共交通の維持・向上を基本としつつ、地域・企業、公共交通事業者、行政等の関係者が連携して取り組む具体施策を取りまとめ、推進することを目的としている。
将来都市像	<p>○「自家用車に過度に頼らないで暮らせる交通体系が確立されているまち」</p>  <p style="text-align: center;">図 将来都市像のイメージ</p>

II. 現況特性の整理

公共交通体系の基本的な考え方	<p>○すべての人にやさしい公共交通の利用促進及び周辺都市間や市内の拠点間の連絡強化のために、鉄道を南北軸、路線バスを東西軸とする公共交通基幹軸を中心とし、これらを補完する公共交通支線軸となるコミュニティバスによる一体的かつ効率的な公共交通ネットワークを形成します。</p> <p>○また、タクシーについては、個別の利用需要に応じた機動性の高い交通手段であることから、利用しやすい環境整備を行います。</p> <p>○公立西知多総合病院を核とした保健医療福祉拠点においては、公共交通によるアクセス利便性の向上を図ります。</p> <p>○誰もが安心して利用できるよう、バリアフリー化*を進めるとともに、移動が確保されるよう、シビルミニマムとしてのサービスの提供を図ります。また、役割分担の明確化や各々の役割に応じたサービス水準を確保し、将来的にも公共交通サービスの維持・向上を図ります。</p>
将来交通ネットワーク	<p>○都市拠点、地区拠点、地域生活拠点等を公共交通基幹軸、公共交通支線軸により、太田川駅を連携拠点として、各連携ポイントにより結ぶものとしている。</p> <p>○公共交通基幹軸、公共交通支線軸により、市街地の公共交通サービスはほぼ充足されている状況である。</p>

表 将来交通ネットワークにおける公共交通軸

公共交通基幹軸	<p>都市の骨格となる公共交通として広域的な移動を支える鉄道及び路線バスを位置付けます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名鉄常滑線、名鉄河和線、路線バス（上野台線、横須賀線）
公共交通支線軸	<p>公共交通基幹軸を補完する公共交通支線軸として、市内の移動を支えるコミュニティバスを位置付けます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバス
連携ポイント	<p>公共交通基幹軸と公共交通支線軸との連絡又は公共交通支線軸どうしが連絡し、交通結節点として公共交通軸の充実を図るポイントを位置付けます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太田川駅（連携拠点）、市役所、名和駅、聚楽園駅、新日鉄前駅、尾張横須賀駅、高横須賀駅、南加木屋駅、公立西知多総合病院、しあわせ村、水深、加木屋車庫、上野台、知北平和公園

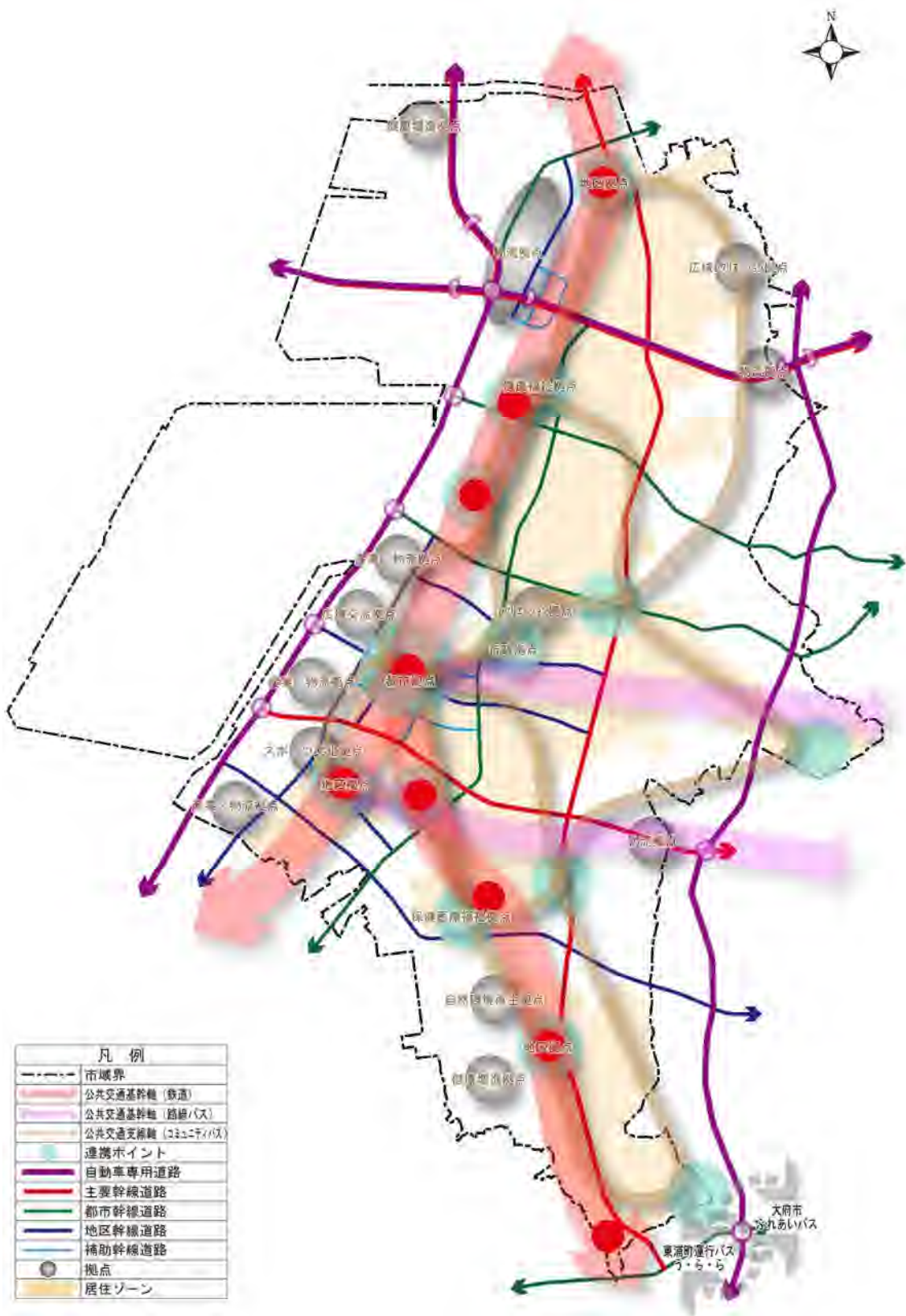


図 将来交通ネットワーク

(7) 東海市地域公共交通網基本構想・形成計画（地域公共交通計画）

策定年	○2016年3月
位置付け	<p>○人口減少・高齢社会に対応した持続可能な交通環境を実現するために、公共交通の維持・向上を基本としつつ、地域・企業、公共交通事業者、行政等の関係者が連携して取り組む具体策を取りまとめ、推進するために策定。</p> <p>○東海市地域公共交通網基本構想は、持続可能な地域公共交通ネットワークの枠組みを構築し、公共交通の一体的な連携・活性化計画の礎となるもの。</p> <p>○東海市地域公共交通網形成計画は、重点的・計画的に進める具体的な施策及び目標値を定めたもの。</p>
計画期間 他計画との 関係	<p>○今後概ね10年後のあるべき将来都市像に向けた基本理念と基本方針を定めるもの。</p> <p>○目標年次：2023年度（総合計画、都市計画マスタープランと整合）</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">図 他計画との関係</p>
将来都市像	<p>「鉄道駅を中心とした公共交通体系が確立されているまち」</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内8駅や新駅を中心とした安全で、かつ、円滑な移動を提供する公共交通により、都市機能の郊外部への拡散や市街地の無秩序な拡大を抑制し、自転車や徒歩を主体とする生活圏へ再構築することを重視したコンパクトなまちづくりへ転換し、本市の特色を生かした公共交通や徒歩・自転車等の交通手段をネットワークすることにより、自家用車に過度に頼らないで暮らせるまちづくりを目指します。

基本方針	<p>1. いろいろな交通機関がなかよくなる公共交通づくり</p>	<p>自家用車に過度に頼らないで暮らせる都市づくりへ向けて、公共交通ネットワークを構築し、各交通手段間の連携強化や交通結節点の機能強化を図ります。また、だれもが利用しやすい公共交通の利用環境を構築します。</p>
	<p>2. みんなで使って、みんなで支える公共交通づくり</p>	<p>市民一人ひとりの交通行動選択の見直しによる公共交通の利用促進や、安定的・持続的な交通サービスの提供に向けて地域で公共交通を支える取り組み等、人と地域が主役となる交通行動の意識づくりを図り、持続可能な交通体系を目指します。</p>
	<p>3. 公共交通を使った活発な交流を促進する仕組みづくり</p>	<p>市民一人ひとりが日ごろの行動に公共交通を使うだけでなく、公共交通を使って行動する人を増やし、交流人口の拡大を図ります。加齢とともに自家用車の運転がままならなくなると、外出を控えがちになる高齢者の外出を促進するとともに、観光や買物等の目的で他の自治体から訪れる人を増やします。</p>

図 地域公共交通ネットワークイメージ

(8) 東海市中心市街地活性化基本計画

策定年	○2016年3月
対象期間	○2016年4月から2021年3月
位置付け	○本市のまちづくりの方向性として示されている、「東海市総合計画」や「東海市総合戦略」及び「東海市都市計画マスタープラン」との整合性を図り、その理念等を具現化する計画となるもの。
コンセプト	○「人と人をつなぎ、交流から生みだす にぎわい溢れるまちづくり」
基本の方針	○すべての人が安全・安心で快適に暮らせるまちづくり ○商業の活性化による活気あるまちづくり ○人と人との交流によるにぎわいあるまちづくり
中心市街地の区域	<p>○区域面積：約76.5ha</p> <p>○区域設定の考え方：太田川駅を中心とした土地区画整理事業、市街地再開発事業、連続立体交差事業（鉄道高架化事業）の三位一体の事業区域を含み、都市機能や居住機能の誘導を図る上で活性化への効果の高い区域を設定している。</p>  <p>図 中心市街地の区域</p>

7. 現況特性等のまとめ

これまでの現況特性の整理を以下にまとめます。

表 現況特性等のまとめ

人口動向	<ul style="list-style-type: none"> ・全体人口は 114,615 人（2021 年 4 月 1 日時点）で、2020 年ごろまで増加傾向であり、2021 年は概ね横ばいで推移 ・世帯数は 1985 年以降は増加傾向 ・年齢 3 区分別人口では、年少人口は増加から減少へ転じており、老年人口は増加傾向 ・人口動態では、2000 年から 2015 年までは自然増減、社会増減ともプラスで推移していたが、2020 年は自然増減がプラス、社会増減はマイナスで全体としてマイナスに転じる ・人口集中地区は、1990 年以降は大きな拡大はみられない中で人口が増加
公共交通の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通は、鉄道、路線バス、循環バスで構成 ・公共交通網と道路網が、市内及び市外と接続 ・公共交通の徒歩圏は、概ね市全域をカバー ・循環バスは利便性向上のため本数、ルート等を見直し予定 ・高横須賀駅～南加木屋駅間（中ノ池付近）に新駅を設置予定
生活サービス施設等の立地状況	<ul style="list-style-type: none"> ・市全域に生活サービス施設（商業施設、医療施設、子育て支援施設及び教育施設、介護福祉施設等）が多く立地
都市の概況	<ul style="list-style-type: none"> ・用途地域の指定状況では、工業専用地域が約 3 割を占めており、これを除くと大半が住居系用途地域 ・臨海部の工業専用地域は、製造業を中心とした工業地帯 ・居住にふさわしくない箇所あり（法規制等による居住制限区域、土砂災害等の危険箇所） ・都市計画道路の供用率は 90% 超と高い ・周辺市町と比較して財政力指数が高い
上位関連計画の把握	<p>【総合計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来都市像「ひと 夢 つなぐ 安心未来都市」 <p>【総合戦略】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リニアインパクトを見据えた地域活性化・にぎわい創出 ・人づくり（人材育成） ・子育て支援・女性の活躍支援 ・健康づくり・生きがいくくり <p>【都市計画マスタープラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市拠点（太田川駅周辺）、地区拠点（鉄道駅周辺）を拠点とした将来都市構造